

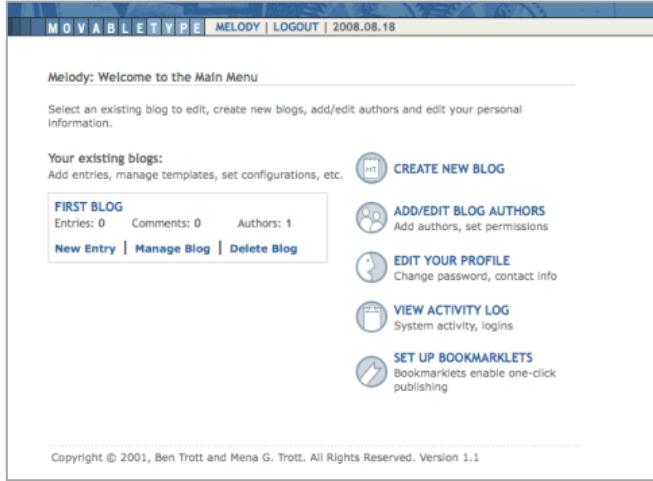


Movable Type

総合案内資料

2019.05.29 版

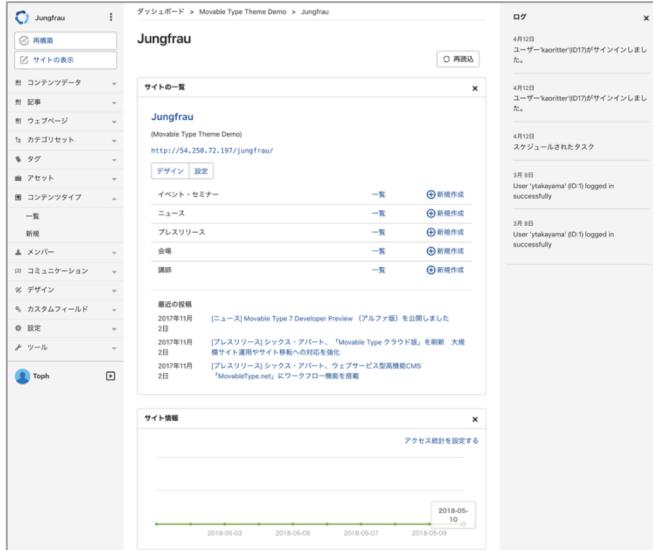
Movable Type とは



2001年

Movable Type 1.0

2001年にブログソフトウェアとして誕生した Movable Type は、多くの人々に利用され、世界各地にブログブームを巻き起しました。高機能で知られた Movable Type の利用方法はブログにとどまらず、ウェブサイトをより効率よく、構築・管理できる WebCMS の先駆けとなり、CMSプラットフォームへと進化。エンタープライズCMSの世界に改革をもたらしました。



2018年

Movable Type 7

CMSとして国内5万サイト以上に導入されるCMSに成長。さらに、最新バージョン Movable Type 7 は、より多様なコンテンツに対応する、まったく新しいCMSに。

コンテンツの受け手側の環境や各種メディアのフォーマットが多様化する中で、Movable Type 7 は、ウェブサイト管理という枠組みにとどまらず、さまざまな形態で受け手にコンテンツを届けるハブとなる、Content Hub Platformに進化しました。

国内5万サイト以上の導入実績

CMSプラットフォーム Movable Type は、
ブログから大企業の数万ページにおよぶ大規模サイトまで
さまざまな用途で、国内だけで5万サイト以上の導入実績があります。

The screenshot shows the homepage of the Pasona Career website. It features a banner for '3分で登録完了!転職サポートに申し込む' (Register in 3 minutes! Apply for job support). Below this, there's a section titled 'パソナキャリアが選ばれる、3つの理由' (3 reasons whyパソナキャリア is chosen) with three icons: 1. 利用者の満足度が高い (High satisfaction rate), 2. 決定率が高い (High acceptance rate), and 3. 女性の転職の実績も多い (Many successful female job transfers). Further down, there's a '業界別の転職特集' (Specialized job transfer sections) for various industries like IT, Real Estate, Finance, Manufacturing, etc. A testimonial from a company executive is displayed, followed by a section for job seekers with filters for gender and region.

コーポレートサイト



ECサイト



イントラサイト・WEB社内報



メディアサイト・企業オウンドメディア



会員制サイト・コミュニティサイト



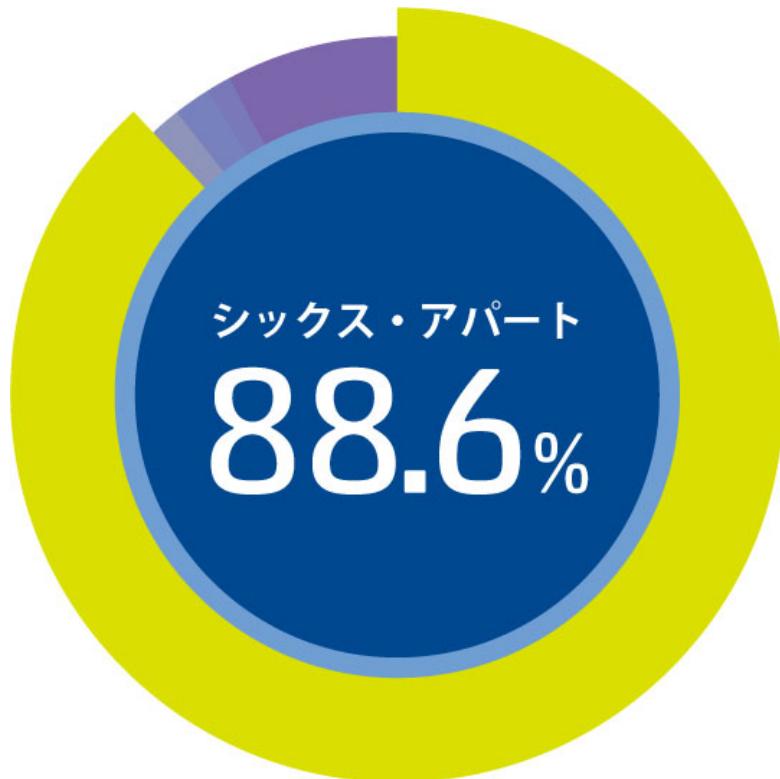
The screenshot shows the homepage of the Daiichi Life Insurance website. It features a prominent 'DAIICHI LIFE INSURANCE' logo at the top. Below it, there's a large image of a woman smiling. A sidebar on the left lists categories like 'お役立ち情報' (Useful Information), 'お問い合わせ' (Contact), and 'お問い合わせ' (Contact again). The main content area includes a '最新記事' (Latest Articles) section with several news items and a 'お問い合わせ' (Contact) button.

The screenshot shows the homepage of the Oshirazu Shabu Shabu website. It features a large image of a dish. The main content area includes a 'レシピ検索' (Search Recipe) bar, a '人気レシピ' (Popular Recipes) section with images of various dishes, and a 'レシピ動画' (Video Recipe) section with a video thumbnail of a person cooking.

The screenshot shows the homepage of the KOBINET website. It features a large image of a building. The main content area includes a '最新記事' (Latest Articles) section with several news items and a 'お問い合わせ' (Contact) button.

商用パッケージ型CMS 国内導入シェア No. 1

Movable Type は、商用CMSとして低価格から導入可能なため、小規模なサイトでも数多く利用されています。さらに、高いセキュリティと、大規模なエンタープライズ向けのソリューションが用意されていることなどから、大企業や、官公庁、大学などの機関まで幅広いユーザー層に支持され、2015年度の商用パッケージ型CMSの国内導入シェア88%を獲得しています。



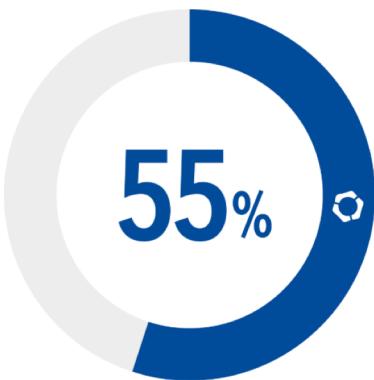
※本数ベース

富士キメラ総研『ソフトウェアビジネス新市場2018年版』データより

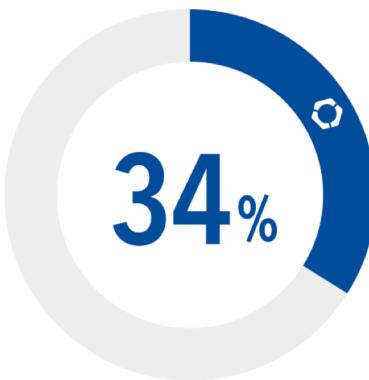
大企業・大学でも多数利用されています

多くの企業や組織でCMSプラットフォームとして利用されている Movable Type ですが、公開されているウェブページのソースなどから Movable Type の有無を判別することは難しく、セキュリティ強化のため、その存在を秘匿することも容易です。そこでシックス・アパートでは、日経平均株価構成銘柄225社などの大企業や、大学におけるライセンス登録状況を調査し、下記の情報を公開しています。

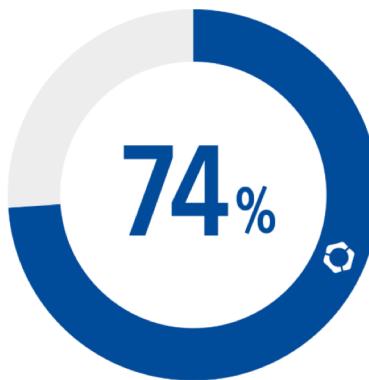
日経平均株価構成銘柄
(225社) の



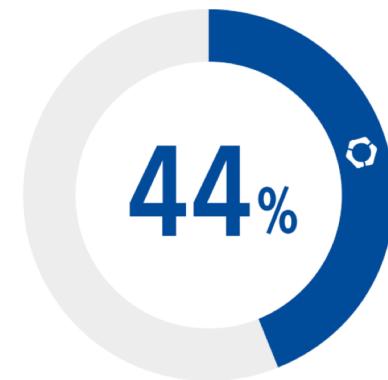
東証一部上場企業
(2079社) の



国立大学
(86校) の



国内にあるすべての大学
(780校) の



5万を超える国内導入実績のうち、企業においては、日経平均株価構成銘柄 225社の55%以上、東証一部上場2079社の34%以上に選ばれています。国内の大学においては、国立大学86校の74%以上、私立も含む国内の全779大学では44%以上ご利用いただいているです。

※上記は、2018年5月時点の Movable Type のライセンス登録情報を元に調査した結果となります。
※一部の事例を本資料巻末でもご紹介しています。

安全性・セキュリティについて

Movable Type は、セキュリティ攻撃の脅威からウェブサイトを守るために、さまざまな対策を行っています。

タグだけでセキュアなサイトを構築

PHPやSQLなどのプログラムを記述することなく、HTMLとMTのテンプレートタグだけで、ウェブサイトを安全に構築できます。プログラムとテンプレートが完全に分離されているため、セキュリティ上の問題や、意図しないデータ破壊が発生することがありません。

CMSと公開サイトのパスを分離可能

管理画面のURLが、公開サイトの直下などの決められた位置になってしまうシステムが多くあります。が、Movable Type は、さらに深い階層や、全く異なるパスに設置することも可能なため、外部からのセキュリティ攻撃を受けにくくなっています。

不正ログインに対するアカウントロック

Movable Type にログインする際に、一定の回数以上、ユーザー名とパスワードを間違えると、ユーザーのアカウントがロックされる「認証ロックアウト機能」を搭載しています。これにより、ユーザーアカウントへの辞書攻撃などによる不正ログインを防ぎます。

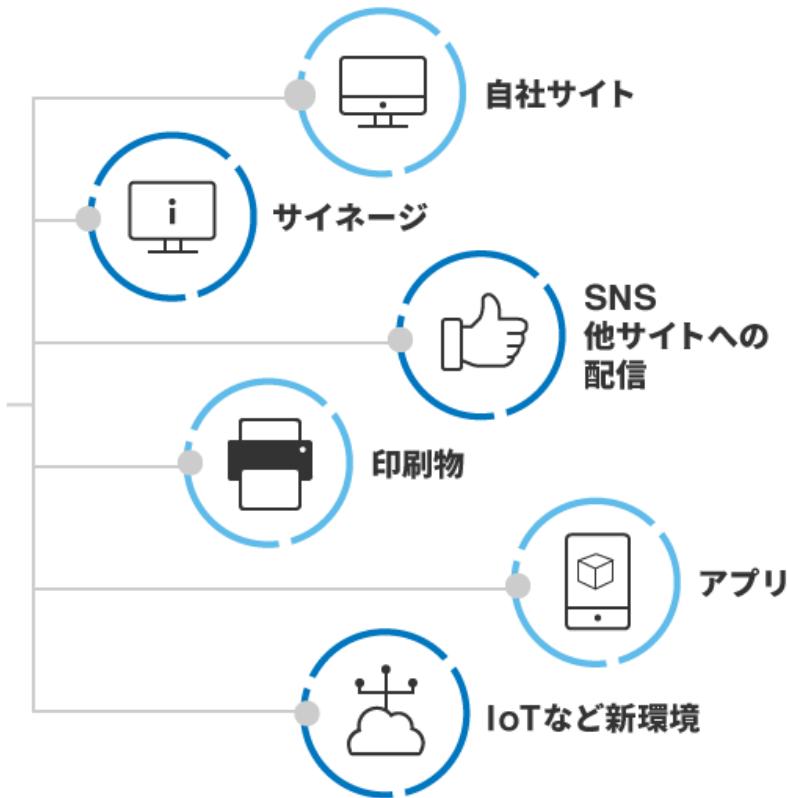
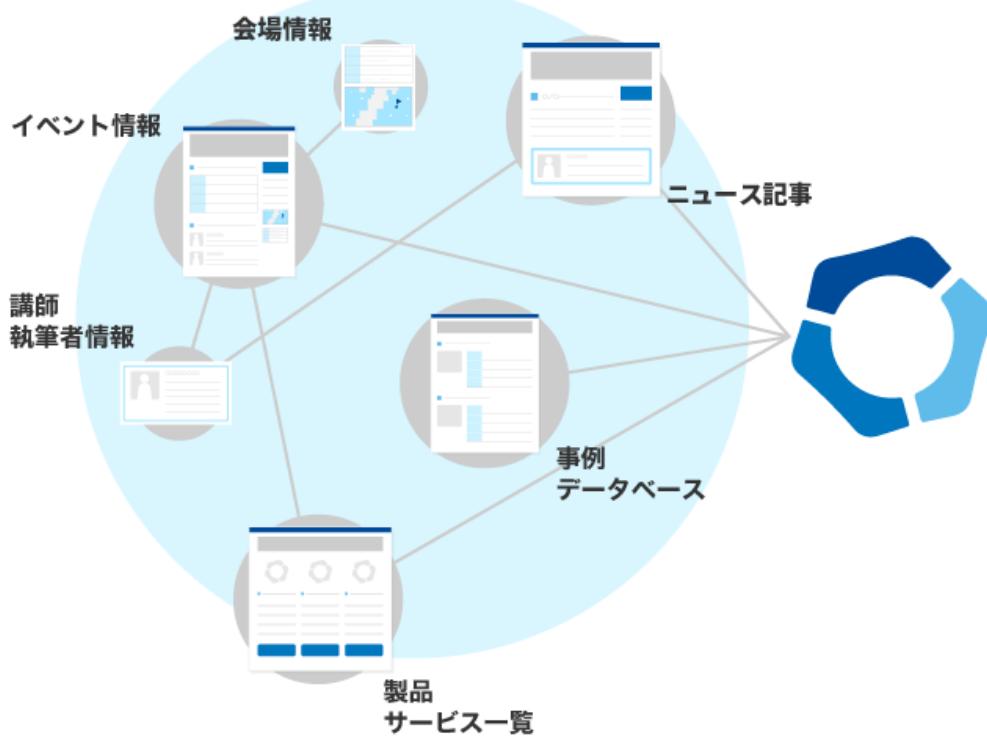
細かな権限設定で役割を明確に

ユーザーごとに細かな権限設定、ロール作成が可能。代表的なロールがあらかじめ設定されています。コンテンツタイプではフィールド毎の編集権限も制御。APIアクセス限定のアカウントも作成可能です。適切なロールを設定することで不慮の事故を防ぎ、複数名で安全にウェブサイトを運用できます。

Movable Type 7 は Content Hub Platform に

2018年5月、新機能「コンテンツタイプ」を搭載した最新バージョン「Movable Type 7」をリリース。コンテンツの受け手側の環境や、各種メディアのフォーマットが多様化する中で、Movable Type 7 は、ウェブサイト管理という枠組みにとどまらず、さまざまな形態で受け手にコンテンツを届けるハブとなる、Content Hub Platform（コンテンツハブプラットフォーム）に進化しました。

コンテンツタイプ



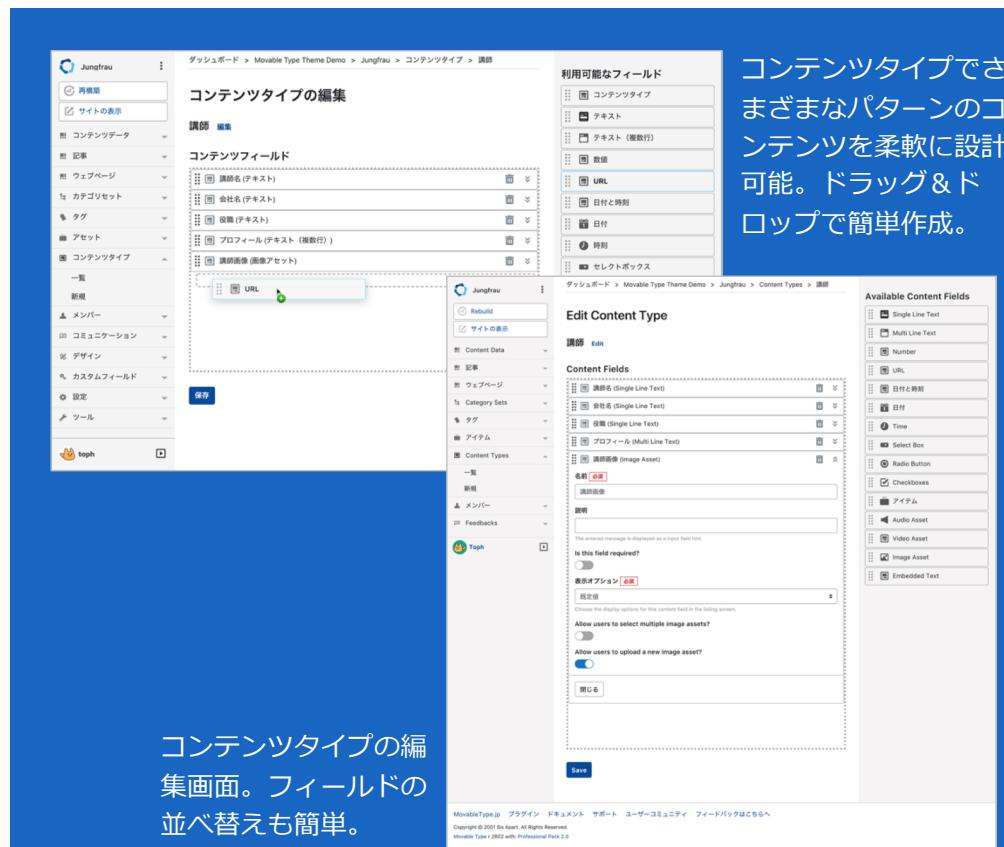
情報設計からCMSへの落としきみがスムーズに

想定されるコンテンツをどのようにストックしていくか、どのようにページやアプリなどに表示するのか。コンテンツが多様化し、その見せ方も複雑になっている昨今、情報設計がとても重要になっています。

また、カオス化したコンテンツを整理しようと数年ごとにリニューアルをするものの、情報設計に基づいて過去のコンテンツを活用できないといった問題も、多くのウェブサイト運用現場で起きています。

Movable Type 7 では、これまでの「記事 + カスタムフィールド」という形とは異なり、新しいデータの形となる「コンテンツタイプ」を利用してすることで、**出力結果を考慮して構造化されたデータを作成**できます

これにより、**さまざまな形式のコンテンツを、情報設計どおりに組み立て、入力・出力することが可能**になります。



The screenshot shows the Movable Type 7 dashboard with the 'Content Types' section open. On the left, there's a sidebar with navigation links like 'Content Data', 'Category Sets', 'Tags', 'Items', and 'Content Types'. The main area displays a list of content types, each with a preview image and a 'Edit' button. A modal window titled 'Edit Content Type' is open, showing the configuration for a specific content type. It includes fields for 'Content Fields' (such as 'Title' and 'Text'), 'Display Options' (like 'Title' and 'Image'), and 'Advanced Options' (checkboxes for 'Allow users to select multiple image assets?' and 'Allow users to upload a new image asset?'). To the right of the modal, a sidebar lists 'Available Content Fields' including various field types like Single Line Text, Multi Line Text, Number, URL, Date, Time, Select Box, Radio Button, Checkboxes, and more.

コンテンツタイプでさまざまなパターンのコンテンツを柔軟に設計可能。ドラッグ＆ドロップで簡単作成。

コンテンツタイプの編集画面。フィールドの並べ替えも簡単。

コンテンツを死蔵せず「可用性」を高める

コンテンツタイプは、コンテンツタイプ同士のリンクも可能です（コンテンツタイプから、他のコンテンツタイプを呼び出すことができます）。

コンテンツタイプを活用してコンテンツを要素ごとにコンポーネント化し、その再利用が容易になることで、コンテンツの「可用性」が高まります。



The screenshot shows the Movable Type dashboard with the following details:

- Left Sidebar:** Shows navigation categories like Content Data, Category Sets, Tags, and Items.
- Main Area - Speaker Creation:**
 - Title:** Edit 講師
 - Data Label:** 高山 裕司
 - Fields:** 講師名 (必選) 高山 裕司, 会社名 シックス・アパート株式会社, プロフィール フォーマット: リッチテキスト (WYSIWYG editor)
 - Right Panel:** Status (Published), Publish Date (2017-10-31 21:22:09), Last Published (2017-10-31 21:22:09), Preview (Preview available), Output File Name (yuij.takayama), and a note about the rich text editor.
- Main Area - Seminar Creation:**
 - Title:** セミナー
 - Fields:** 開催日時 (2017-10-06 14:30:00), 終了日時 (2017-10-06 19:30:00), 開場時間 (14:00:00), 開催日時メモ (*上記は想観会を含みます。セッションのみの終了は17:20頃を予定しています。), 会場 (Global Business Hub Tokyo), and Speaker (multiple dropdowns for 平田大治, 高山 裕司, 長谷川恭久, 早瀬将一).

「講師」というコンテンツタイプを作り、各講師ごとにコンテンツを作成します。

「セミナー」のコンテンツタイプにコンテンツを入力する際、各「講師」のコンテンツを呼び出せます。

例えば、イベントやセミナーのコンテンツを作成する際に、**講師のプロフィール情報を過去の記事からコピー&ペースト**してたり、**何度も同じ内容を入力**したり、**講師の肩書が変わった際に、過去のコンテンツも含めて検索して置換**する……運用現場ではよく行われています。

「コンテンツタイプ」を使えば、講師情報もひとつのコンテンツとして扱い、イベントやセミナーのコンテンツに呼び出すことができます。その結果、上記のような運用の手間を大幅に省くことができ、コンテンツの管理もしやすくなります。

分かりやすいコンテンツ入力画面を作成可能

コンテンツタイプのフィールド作成により、投稿画面での表示方法も定義する形となります。

これは、これまで制作現場でお客様の要望に応じて行なわれていた、ソース変更や DOM 操作を伴う**投稿画面のカスタマイズが、標準機能で可能**になることを意味します

フィールドのラベルの変更や並び替え、さらにユーザーによる並び順の変更を不可にするといった機能制限まで、Movable Type の標準機能で実現可能です。

コンテンツの書き手にとって分かりやすい編集画面を作成できることで、**誰がコンテンツを入力しても、再利用性の高い、構造化されたデータの作成が可能**になります。

コンテンツタイプで投稿画面を柔軟に設計可能。見たまま簡単に入力でき、誰が書いても一定レベルのコンテンツデータを作成できます。

The screenshot displays the Movable Type content editor's configuration interface for a specific event. It includes sections for:

- 参加費**: A section for fees with a dropdown menu for "フォーマット" (Format) set to "改行を変換" (Convert line breaks), and a toolbar below it.
- こんな方におすすめ**: A section listing target audiences with three radio buttons: "ウェブ制作に携わる方" (Web developers), "Movable Type ユーザーの方" (Movable Type users), and "CMSを使用したサイト構築に興味のある方" (Those interested in CMS-based website construction).
- 主催**: A section for sponsors with a dropdown menu for "フォーマット" (Format) set to "ブロックエディタ" (Block Editor), and a note indicating "最大文字数: 250" (Maximum characters: 250).
- プログラム**: A section for program details with a dropdown menu for "フォーマット" (Format) set to "ブロックエディタ" (Block Editor).
- カテゴリ**: A section for categories with a dropdown menu for "フォーマット" (Format) set to "リストエディタ" (List Editor), and a note indicating "最大文字数: 10" (Maximum characters: 10).
- タグ**: A section for tags with a dropdown menu for "フォーマット" (Format) set to "タグエディタ" (Tag Editor), and a note indicating "最大文字数: 250" (Maximum characters: 250).
- 開催日時**: A section for start and end times with dropdown menus for both, each with a note indicating "最大文字数: 10" (Maximum characters: 10).
- 会場**: A section for venue information with a dropdown menu for "フォーマット" (Format) set to "リストエディタ" (List Editor), and a note indicating "最大文字数: 250" (Maximum characters: 250).
- 講師**: A section for speakers with a dropdown menu for "フォーマット" (Format) set to "リストエディタ" (List Editor), and a note indicating "最大文字数: 10" (Maximum characters: 10). This section lists four speakers: 平田大治, 高山裕司, 長谷川泰久, and 早瀬和一, each with a "削除" (Delete) button.

デザイン要素の分離を図るブロックエディタ

従来のエディタに加え、使いやすさとコンテンツの可用性の両立のため、新たにブロックエディタを搭載しました。

ブロック単位でコンテンツを構成、作成することで、**デザイン要素がコンテンツに含まれないよう**にすることができ、**コンテンツの可搬性が高まります**。

The diagram illustrates the separation of design elements from content using the Block Editor. It shows two main components:

- 要素のタイプを選択** (Select element type) - A screenshot of the "Block Selection" dialog box showing options like Headline, Text, Code, and Image.
- ブロックごとに編集** (Edit by block) - A screenshot of the "Block Editor" interface showing a list of blocks (Text, Headline, Text) and a "Preview" button.

A large blue arrow points from the selection step to the editing step, indicating the flow from choosing element types to editing them individually.

各要素を展開。画像の挿入位置なども簡単に並び替えで変更可能。

The screenshot shows the "Block Editor" interface with the following details:

- フォーマット:** ブロックエディタ (Format: Block Editor)
- 【Keynote】生まれかわる Movable Type 7 のコンセプトと概要** (【Keynote】Born again Movable Type 7 Concept and Overview)
- 平田大治 (取締役 CTO)** (Hiroto Hirata (Managing Director CTO))
- [14:35 ~ 15:15 (40分)]** ([14:35 ~ 15:15 (40 minutes)])
- 日本の市場シェアNo.1の商用CMSとして幅広く使われている Movable Type の、新しいメジャーバージョンである Movable Type 7 の開発が順調に進行中です。新しいCMSに進化する Movable Type 7 のコンセプトと機能概要について、同日発表予定のデベロッパープレビュー版をベースに説明します。また、Movable Type 7 のリリースに合わせて、今後の Movable Type ファミリーの展開についてもお話しします。** (The development of the new major version, Movable Type 7, which is a widely used commercial CMS, is progressing smoothly. This keynote will introduce the concepts and features of Movable Type 7 based on the developer preview version to be released on the same day. Additionally, we will discuss the future direction of the Movable Type family in line with the release of Movable Type 7.)

詳説 Movable Type 7 ~Movable Type 7 で始めるコンテンツとウェブの新しい関係～

思い描いたアイデア・デザインをそのまま形に

Movable Type は、HTML、CSS、javaScriptなど、**どのようなコードも管理**でき、レスポンシブデザインのスマートフォン対応サイトを含め、**デザイナーが思い描いたデザインをそのまま形に**できます。

HTMLによく似た独自のテンプレートタグ（MTタグ）により、プログラミングの知識も必要としません。

The screenshot shows the Movable Type dashboard with the following interface elements:

- Left Sidebar:** Includes links for "再構築" (Rewrite), "サイトの表示" (Site View), "コンテンツデータ", "記事", "ウェブページ", "カテゴリセット", "タグ", "アセット", "コンテンツタイプ", "メンバー", "コミュニケーション", "デザイン", "カスタムフィールド", "設定", "ツール", and "Top".
- Header:** Displays the site name "Jungfrau" and the current path: ダッシュボード > Movable Type Theme Demo > Jungfrau > テンプレート > プレスリリース TOP.
- Title:** テンプレートの編集 (Template Editor).
- Template Name:** プレスリリース TOP.
- Template Content Area:** Contains the MT template code for the "Press Release TOP" page. The code includes sections for the key visual, main content, and entry lists, with comments explaining the logic for setting image dimensions based on width and height.
- Code Highlighting:** A toggle switch labeled "コードハイライト" (Code Highlight) is turned on.
- Right Sidebar:** Contains sections for "ステータス" (Status), "ショートカット" (Shortcuts) with links to index templates, "インクルードテンプレート" (Included Templates) listing "header", "sidemenu-pressrelease", and "footer", and "コンテンツタイプ" (Content Types) with a dropdown set to "ニュース" (News).

自由に設計できるアーカイブマッピング

コンテンツの出力パス（URL）を自由に設計できるのが Movable Type の大きな強みの一つです。

Movable Type 7 でも、これまでと変わらず利用できるのはもちろん、**コンテンツタイプに含まれているフィールドも出力パスの内容として使用することができる**ようになっています。

アーカイブマッピング

パス

カスタム...
event/%y/%m/%-f

種類
コンテンツタイプ別

公開

スタティック(既定)

カテゴリフィールド
カテゴリ

日付と時刻フィールド
開催日時

削除

④ 新しいアーカイブマッピングを作成

▶ 公開プロファイルについて
▶ カスタムマッピング変数

コンテンツの出力パスを「アーカイブマッピング」で柔軟に設定可能。

コンテンツタイプに含まれている、フィールドも出力パスの内容として使用できます。

左図は、イベントページのテンプレートのアーカイブマッピング設定サンプルです。日付と時刻フィールドにおいて、記事の「公開日時」だけでなく、イベントの「開催日時」フィールドの内容を使用できます。

コンテンツの自動保存・履歴管理で安心

記事が自動保存されるので、書きかけの記事を誤って消してしまっても、元に戻すことができます。

「間違ってブラウザを閉じてしまった」

「記事を書いている途中にパソコンが操作できなくなってしまった」

そんなときでも、**自動保存された記事を復元できる**、心強い機能です。

さらに、**履歴管理機能で、過去に保存した内容を復元可能**。いつ、誰が、どのような変更を加えたのかが一目でわかります。変更ごとにメモも残せるので、グループで作業を行う際にも便利です。

入力中のコンテンツは自動保存されるため安心。初期設定では、編集中の内容に変更が発生し5秒間操作が無い場合に自動保存が行われます。

ダッシュボード > Movable Type Theme Demo > Jungfrau

イベント・セミナーの編集

コンテンツデータは自動保存されています(直前)。自動保存された内容を元に戻す 戻す

パーマリンク: <http://54.250.72.197/jungfrau/event/2017/10/mtddc2017.html> 表示

データ識別ラベル 必須
MTDDC
このデータを識別するラベルを入力します

タイトル 必須
MTDDC 2017
(最大文字数: 255)

本文

フォーマット:
リッチテキスト

更新ボタンを押してコンテンツを明示的に更新した場合は、更新履歴に残り、復元が可能。修正に関するメモも残せます。

| 保存した日 | メモ | 保存したユーザー |
|---------------------|-------------|---------------|
| 2018-05-15 15:54:15 | 参加費を修正しました。 | Toph |
| 2018-02-27 12:02:15 | | Yuji Takayama |
| 2018-02-27 12:01:45 | | Yuji Takayama |
| 2018-02-27 12:01:04 | | Yuji Takayama |
| 2017-11-02 11:35:31 | | Toph |
| 2017-11-02 11:19:57 | | Toph |
| 2017-11-02 09:48:57 | | Toph |
| 2017-10-31 23:54:21 | | Toph |
| 2017-10-31 22:27:16 | | Toph |

キャンセル

MT7では、新しいコンテンツ管理の方法として「コンテンツタイプ」という仕組みを利用してウェブサイトを構築します。「コンテンツタイプ」にはドキュメントやカタログのようにアップロードした機能があります。

Data API でワンソース・マルチユースを促進

Data API は、**REST/JSON方式で Movable Type にアクセスし、データの取得や更新ができるAPI** です。Movable Type 7 では、コンテンツタイプ関連のエンドポイントを追加し、整理・構造化されたコンテンツデータの出し入れを容易にします。

安全に、柔軟なコンテンツ運用とワンソース・マルチユースを実現

サイト単位で利用制限が可能

同一の Movable Type 内に作成されたサイト単位で、それぞれ Data API の利用制限を設定できます。

→ Data API を使用しないサイトでは、Data API へのアクセスを禁止できるため、
よりセキュリティを考慮したサイト運用が可能に

サインイン・コントロールで API アクセスのみのアカウントも作成可能

APIアクセスのみで、CMSの管理画面にサインインさせないアカウントも作成できます。

→ CMS管理画面にサインインさせないため、さらにセキュアで安心です。

Data API を利用したiOSアプリ Movable Type for iOS

- 記事／ウェブページの作成・編集・投稿（カスタムフィールド対応）
- 編集中の記事／ウェブページのプレビュー（スマートフォン&PCビュー）
- 下書きした記事やウェブページのローカル保存
- 写真のアップロード、サイズ・品質指定・管理
- ◇ MITライセンスで提供（カスタマイズして利用可）
- ◇ 現時点では、本アプリは Movable Type 6 にのみ対応です。Movable Type 7 未対応ですので、あらかじめご了承ください。

他のウェブサービス、プラットフォームとのAPIによる連携はもちろん、デジタルサイネージや、
その他さまざまなデバイスでのデータ利用など、ウェブサイトのコンテンツ管理だけにとどまらない活用が可能です。

管理画面はスマートフォンでも快適に操作OK

Movable Type 7 の管理画面は、スマートフォンやタブレット端末でも操作しやすいように最適化されています。

※ 2018年10月31日にリリースされたバージョン（r.4501）で対応

A screenshot of the Movable Type 7 dashboard on a smartphone. The top bar is dark with white text. On the left is a vertical navigation menu with the following items: ジャンフロイ (Jungfrau), http://localhost/sites/20180904-1/, 1, イベント・セミナー, ニュース, プレスリリース, 会場, and 講師. The main content area shows a single item: ジャンフロイ (Jungfrau) with the URL http://localhost/sites/20180904-1/. There is a "再読み込み" (Reload) button at the bottom of this card.

A screenshot of the Movable Type 7 editor on a smartphone. The top bar shows the site name Jungfrau and has icons for refresh, settings, and exit. The main content area has a title card for "新しいイベント・セミナー". Below it is a section titled "データ識別ラベル" with the note "タイトルの値がデータ識別ラベルとして利用されます". The main editing area has a "タイトル" field with a red border and the word "必須" in a red box. A note "(最大文字数: 255)" is shown below the field. At the bottom are buttons for "本文", "プレビュー", and "並び替え". A "フォーマット:" dropdown is set to "ブロックエディタ". Below the dropdown is a small image of a cat's face.

主な機能一覧 《1》

| | |
|---------------------|--|
| WYSIWYGエディタ／入力モード切替 | リッチテキストエディタ（WYSIWYGエディタ）で、手軽に表現力豊かなコンテンツを編集可能。ブロックエディタ、Markdownなど複数の入力モードに対応。記事ごとに切り替え可能です。 |
| ブロックエディタ | ブロックごとにコンテンツを作成でき、各ブロック単位で並べ替えも可能。デザイン要素がコンテンツに含まれないようにすることができます。 |
| ファイルアップロード／アイテム管理 | 画像やPDFファイル、動画や音声ファイルまであらゆる種類のファイルをWebブラウザから簡単に管理できます。アップロードできるファイルの種類を限定することも可能。アイテムがどのブログ記事やウェブページで使用されているかも確認できます。 |
| マルチアップロード | アイテム管理画面・記事作成中に、複数アイテムをドラッグドロップで一括アップロード可能。 |
| イメージエディタ | 画像の回転・リサイズ・トリミング・EXIF/GPS情報の除去などができるイメージエディタを搭載。 |
| 定型文 | ブログ記事、ウェブページにおいて、事前に登録しておいた定型文をテキストエディタから呼び出すことができます。定型文はすべてのフォーマットで呼び出すことができます。 |
| コンテンツ・記事の自動保存 | 入力中の記事は自動保存されるため、安心です。 ※初期設定では、編集中の内容に変更が発生し5秒間何も操作が無い場合に自動保存が行われます。 |
| コンテンツ・記事の複製 | Movable Type Premium で可能。 |
| コンテンツ・記事プレビュー | 編集中のコンテンツを、実際のサイトと同じデザインで確認できます。 Movable Type Premium では動的プレビュー対応。 |
| 日時指定公開／非公開 | 日時を指定して記事を公開／非公開できます。 |
| 未来のリビジョン作成／指定日差し替え | Movable Type Premium で可能。公開中のコンテンツの未来のバージョンを作成して差し替え可。 |
| アセットの公開／非公開設定 | Movable Type Premium で可能。紐づくページの公開と同時に公開を行う設定が可能。 |
| CSV一括インポート／エクスポート | Movable Type Premium で可能。コンテンツ、アセット、カテゴリ、フォルダ、ユーザーに対応。 |
| リンク切れチェック／禁止ワードチェック | Movable Type Premium で可能。 |
| アクセシビリティチェック | Movable Type Premium で可能。WCAG2.0 (JIS X 8341-3:2016) レベル A ~ AAA のチェックが行えます。 |
| 同時編集抑制 | Movable Type Premium で可能。二者以上による同時編集を抑制できコンフリクトを防止。 |
| ワークフロー | Movable Type Premium で可能。 |

主な機能一覧 《2》

| | | |
|------------------|---------------------|---|
| デザイン・構築 | テンプレートデザイン | HTMLとMTタグを使って、制約のない自由なデザインが可能です。HTML、CSS、JavaScriptなど、あらゆるソースコードをテンプレート化できます。 |
| | アーカイブマッピング | コンテンツの出力パス（URL）を自由に設計可能です。 |
| | 環境変数の設定 | Movable Type が動作する際のさまざまな基本的な設定を変更・保存できます。 |
| | カスタムフィールド | Movable Type 6 以前で使用していた独自入力フィールドで、Movable Type 7 へのアップグレード時には、そのまま利用できます。 |
| | コンテンツタイプ（コンテンツ設計機能） | コンテンツを構成するフィールドを自由に設計できます。これにより、出力結果を考慮して構造化されたデータを作成可能。コンテンツを要素ごとにコンポーネント化でき、コンテンツタイプから、他のコンテンツタイプをリンクすることも可能です。 |
| | 記事／ウェブページ | Movable Type 6 同様に、記事・ウェブページも利用可能。 |
| | テーマ機能 | ウェブサイトをデザインするテンプレートや、カスタムフィールド、カテゴリーなどを、まとめて「テーマ」として保存、配布が可能です。作成したデザインテンプレートを納品したり、作業中の履歴をテーマとして保存するなど、サイト制作の作業が便利になります。 |
| | 再構築トリガー（旧：マルチブログ機能） | 同じ Movable Type で管理している他のサイトのコンテンツの更新に連動してサイトを再構築することができます。 |
| | Data API | さまざまなプログラム言語から REST/JSON方式で Movable Type にアクセスし、データの取得や更新ができるAPIです。Movable Type 7 ではコンテンツタイプにも対応。整理・構造化されたコンテンツデータの出し入れを容易にします。 |
| | 管理画面のカスタマイズ | Movable Type Premium で可能。 ※ 管理画面カスタマイズが可能なプラグインMTAppjQuery が同梱されています。 |
| HTML・アセット一括インポート | | Movable Type Premium で可能。HTMLやアセットのファイルをzip形式で一括インポートできます。 |
| サイト・コンテンツの階層表示 | | Movable Type Premium で可能。 サイトに属するフォルダ・カテゴリ・コンテンツデータを階層表示（ツリー表示）でき、そこからの操作も可能。 |

主な機能一覧 《3》

| | |
|--------------------|---|
| ユーザーごとの権限付与 | ユーザーごとに細かな権限設定、ロール作成が可能。代表的なロールがあらかじめ設定されています。 |
| サインイン・コントロール | CMS管理画面と Data API によるサインインを権限で設定可能。 |
| 記事の履歴管理 | 記事の履歴を保存できます。履歴には、修正した日時、メモ、修正作業者などの情報を記録できます。 |
| 画像品質の設定 | 画像がアップロードされたときに、元画像、サムネイル画像の両方について、事前に設定した画像品質に自動的に調整する機能を追加しました。管理者による画像ファイルサイズのコントロールが可能です。初期設定では有効になっており、設定画面から無効にすることも可能です。 |
| エクスポート／インポート | コンテンツ、アイテム、テンプレート、各種設定やユーザーなどをまとめてエクスポート可能。エクスポートしたデータを復元先の Movable Type にインポートできます。 |
| リストイングフレームワーク | Movable Type で管理されるデータの一覧について、データのソートやフィルタリング。表示する項目や件数の変更を統一されたインターフェイスで操作できます。 |
| フィルタリング機能 | ブログ記事やウェブページなどを細かい条件で絞込み、一覧表示することができます。「過去1年間に田中さんが作成したデータ」「赤坂という文字が含まれる記事一覧」など、細かい条件でデータを検索できます。 |
| フォルダ・カテゴリーの並び替え | ドラッグ & ドロップでフォルダやカテゴリを並び替えることができます。 |
| サーバー配信機能（ステージング機能） | ソフトウェア版では Movable Type Premium、Movable Type Advanced で利用可能。クラウド版には全プランに搭載。 Movable Type で生成したコンテンツを外部サーバーへ配信して公開できます。画像ファイルなども合わせて配信するため、情報公開のタイミングをコントロール可。公開用サーバーにCMSのインストールが不要なため不正アクセスなどのセキュリティリスクを低減できます。 プラグイン「Uploader」でも実現可能。 |
| グループによるユーザー管理 | Movable Type Advanced で可能。ユーザーをグループ単位で管理できます。 |
| LDAP認証・管理 | Movable Type Advanced で可能。 |

バージョン別機能差分表 《1》

バージョン別機能差分表 《2》

プロダクト・ライフサイクルポリシー《1》

シックス・アパートでは、Movable Type への最新の脅威に対抗し、脆弱点を保護し、お客様に常に最適な状態で安心してお使いいただくため「プロダクト・ライフサイクルポリシー」を制定し、バージョン毎に販売期間および標準メンテナンス期間を定めています。本ポリシーをMovable Type の計画的なバージョンアップを行うための参考情報としてお役立ていただくとともに、お客様のシステムのプロダクト・ライフサイクルに盛り込んでいただくようお願いいたします。



| | GA | EOS | EOM | EOL |
|------------------------------|------------|------------|------------|------------|
| MT 4.2x | 2009/07/29 | 2009/11/26 | 2010/11/26 | 2011/11/26 |
| MT 5.0x | 2009/11/26 | 2011/05/25 | 2012/05/25 | 2013/05/25 |
| MT 5.1x | 2011/05/25 | 2012/09/26 | 2013/09/26 | 2014/09/26 |
| MT 5.2x | 2012/09/26 | 2013/09/30 | 2014/09/30 | 2015/09/30 |
| MT Advanced 5.2x | 2012/12/05 | 2014/01/15 | 2015/01/15 | 2016/01/15 |
| MT 6.0.x | 2013/10/17 | 2015/02/12 | 2016/02/12 | 2017/02/12 |
| MT Advanced 6.0.x | 2014/01/15 | 2015/02/12 | 2016/02/12 | 2017/02/12 |
| MT 6.1.x | 2015/02/12 | 2015/10/08 | 2016/10/08 | 2017/10/08 |
| MT Advanced 6.1.x | 2015/02/12 | 2015/10/08 | 2016/10/08 | 2017/10/08 |
| MT 6.2.x | 2015/10/08 | 2016/08/24 | 2017/08/24 | 2018/08/24 |
| MT Advanced 6.2.x | 2015/10/08 | 2016/08/24 | 2017/08/24 | 2018/08/24 |
| MT 6.3.x | 2016/08/24 | 2018/4/2 | 2019/5/15 | 2020/5/15 |
| MT Advanced 6.3.x | 2016/08/24 | 2019/1/16 | 2020/1/16 | 2021/1/16 |
| MT 6.5.x | 2019/4/17 | 2022/5/16 | 2022/5/16 | 2022/5/16 |
| MT Advanced 6.5.x | 2019/4/17 | 2022/5/16 | 2022/5/16 | 2022/5/16 |
| MT 7 r.42xx, r.45xx, r.46xx | 2018/5/16 | | | |
| MT Advanced 7 r.45xx, r.46xx | 2019/1/16 | | | |

プロダクト・ライフサイクルポリシー 《2》

<GA (General Availability): 正式版リリース日>

GA～EOSの間は、バグフィックスリリース (0.0x) とセキュリティリリースが行われ、シックス・アパートのテクニカルサポートが受けられます。

<EOS (End of Sales): 製品販売終了日>

EOSとは、製品の販売を終了するタイミングを指します。EOSは、新たなメジャー (x.0) や フィーチャー (0.x) リリースが正式リリース (GA) を迎えたタイミングで発生します。EOSを過ぎると、そのバージョンの製品を購入することはできません。

EOMまでは、バグフィックスリリース (0.0x) とセキュリティリリースが行われ、シックス・アパートのテクニカルサポートが受けられます（※1年間のアップグレード猶予期間）。

<EOM (End of Maintenance): メンテナンス終了日>

EOMとは、シックス・アパートがその製品へのメンテナンスを終了するタイミングを指します。EOMは、EOSから起算して12ヶ月後に行われます。ただし、EOMを過ぎた後も、EOLを迎えるまでは、セキュリティに重大な影響を及ぼすと考えられるクリティカルなバグ発生時において、シックス・アパートの判断においてセキュリティパッチを提供します。この期間のことをセキュリティメンテナンス期間と定めます。製品を継続利用いただくことは可能ですが、基本的なメンテナンスはEOMのタイミングで終了し、シックス・アパートのテクニカルサポートも受けられません。なお、セキュリティメンテナンスの対象となるのは、各フィーチャーリリースの最終バージョンのみで、その他のバージョンはEOLになります。新規にテクニカルサポートを受けたい場合には、現行バージョンにアップグレードする必要があります。

<EOL (End of Life): 製品ライフサイクル終了日>

EOLとは、メンテナンス、バグフィックス、機能追加、セキュリティパッチ等の全ての対策が終了になるタイミングを指します。サードパーティ保守を受けられる可能性はありますが、シックス・アパートの有償サポートは受けることができません。製品を継続利用いただくことは可能ですが、セキュリティリスクを残したままでの利用になりますので、EOL前に現行バージョンにアップグレードすることを強く推奨します。

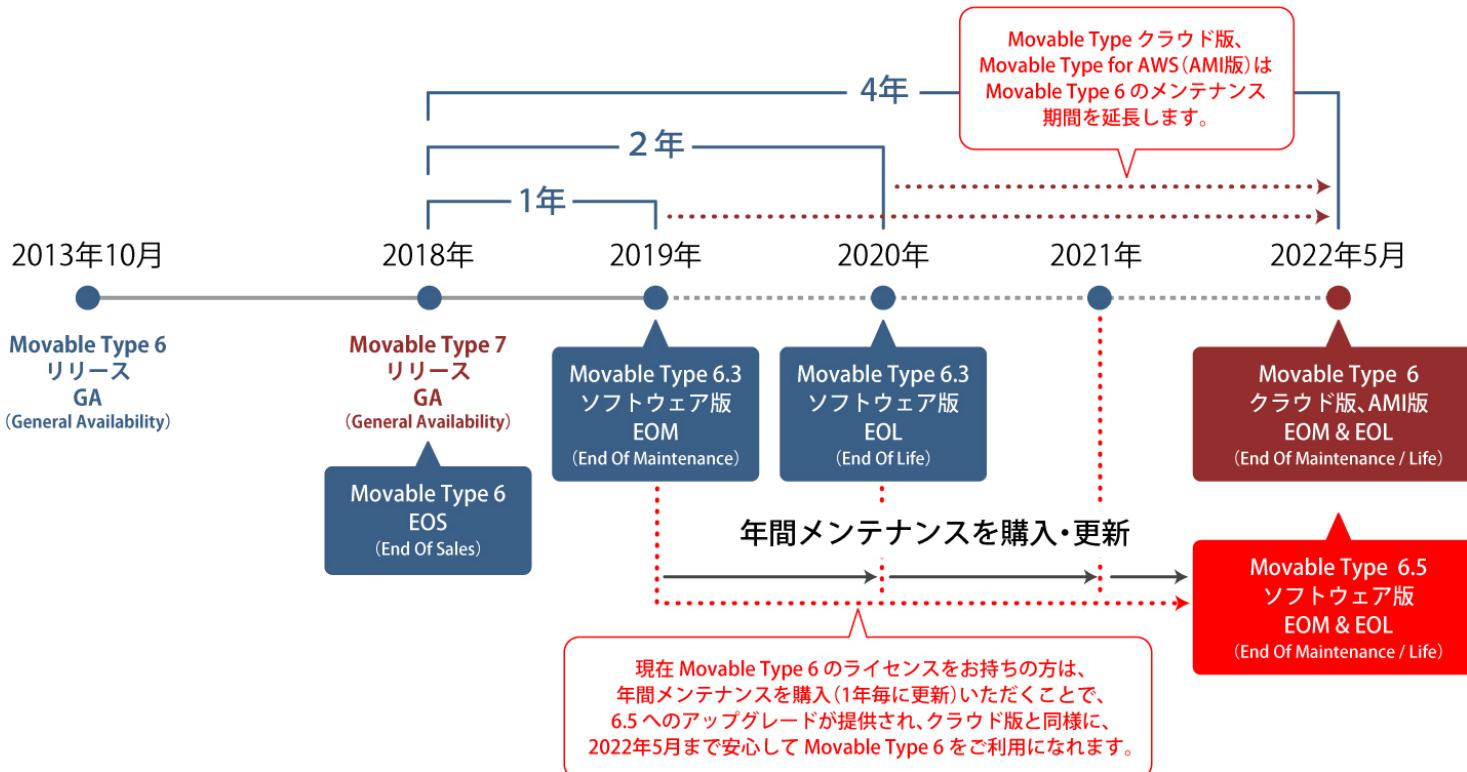
クラウド版、AMI版 MT6 のメンテナンス延長について

Movable Type クラウド版 および Movable Type for AWS (AMI版) については、Movable Type 6 のメンテナンス期間の延長しています。

MT7 では、大幅なUI変更と機能改善が行われています。MT6 からのアップグレードは可能ですが、MT7 の新しい機能を存分に活用いただくためには、バージョンアップに相応の準備期間が必要となる場合もあると考え、Movable Type クラウド版と Movable Type for AWS については、MT7 のリリースから4年間（2022年5月まで）MT6 のメンテナンス（最新バージョンおよびテクニカルサポートの提供）を行います。

Movable Type 6.5 は、クラウド同じく2022年5月までメンテナンスを延長

MT6.3 系は、2019年5月16日に EOM (End of Maintenance) となりメンテナンスが終了しますが、MT6.5 は、クラウド版で MT6 をご利用いただくのと同様に EOM / EOL が 2022年5月16日 まで延長されます。MT6のライセンスをお持ちの方が MT6.5 をご利用いただくには、「Movable Type 年間メンテナンス」の購入・更新が必要です。メンテナンス保有期間中は、MT6.5 の継続利用、MT7 へのバージョンアップのいずれも選択可能です。



Movable Type シリーズ ラインナップ[®]

Movable Type は、さまざまな形態で提供しています。ご利用環境や用途に合わせて、最適なものを選びください。

MovableType.net については、その他の Movable Type シリーズとは仕様や搭載されている機能が異なる点がございます。

その他はすべて、ソフトウェアの最新版 Movable Type がベースとなっているため、基本的な機能は同様です。

※価格は税抜表示です。

MovableType.net

ウェブサービス型CMS

サインアップすればすぐ始められるウェブサービス型CMS。スマートフォン対応テーマで構築コストを最大限カット。搭載されている機能は他のMovable Typeとは一部異なり、ウェブサービスならではの機能を提供しています。

制作・運用コストを抑えたいが、安全な環境でサイトを管理したい

標準テーマのカスタマイズだけで、簡単に見映えの良いスマートフォン対応サイトを構築したい

<https://movabletype.net/>

月額 2,500円～

SOFTWARE

ソフトウェア版

ライセンスを購入し、自社でご用意されたサーバーにインストールして使用するソフトウェア・パッケージです。

自社で自由にサーバーの設定・管理をしたい

プラグインを多用し、より高度なカスタマイズがしたい

CMSのライセンスにランニングコストをかけたくない

90,000円

ENTERPRISE SOLUTION

エンタープライズ・ソリューション

ハイエンドな機能を追加した上位版の Movable Type Premium や、商用データベースへの対応、LDAP ディレクトリとの連携など大規模運用環境に適し、複数サーバーにインストール可能な Movable Type Advanced があります。

よりきめ細やかな機能が必要

グループ会社、フランチャイズ店舗などでCMSを共同利用したい

複数の企業が参加する団体で使用したい

750,000円～
1,500,000円

CLOUD

クラウド版

クラウド環境にインストールされた最新版の Movable Type を利用できる、ソフトウェアのアップデートやサーバー管理が一切不要なマネージドサービスです。

CMSやOS等のアップデートやセキュリティ対策を自社で行いたくない

Movable Type に最適化された環境で利用したい

初期コストを抑え、スマートスタートで始めたい

月額 5,000円～

AMI

Movable Type for AWS

Movable Type Advanced for AWS

Movable Typeがインストールされた Amazon Machine Image (AMI) です。最適にチューニングされた形で提供されるため、簡単に環境を構築できます。

Amazon EC2のスケーラブルな環境を利用したい

EC2上で簡単に、スムーズに環境を作成したい

無料で試したい（※）

※マイクロインスタンスに限り無料でご利用可能

MT : 0.07ドル/時間 499ドル/年
MTA : 0.7ドル/時間 4,999ドル/年

Movable Type シリーズ比較

| | MovableType.net | ソフトウェア版 | クラウド版 | Movable Type for AWS |
|----------------------|--|---|--|--|
| サービス形態 | ウェブサービス型 | インストール型 | マネージド・サービス | AMI |
| 特徴・ メリット | <ul style="list-style-type: none"> ❖ 標準テーマのカスタマイズだけで見映えのよいレスポンシブ対応サイトを構築可 ❖ 動的生成のみ対応で再構築不要 ❖ フォーム・ワークフロー機能が付属 ❖ サーバー監視、セキュリティ対策はおまかせ ❖ 標準機能で常時SSL（HTTPS）化が可 | <ul style="list-style-type: none"> ❖ 静的生成・動的生成いずれも可 ❖ 対応するプラグイン、ソリューションが豊富で、より高度なカスタマイズが可能 ❖ 自社で自由にサーバーの設定や管理が可能 ❖ エンタープライズ向け上位版あり ❖ プラグインとセットになったお得なパッケージ製品あり | <ul style="list-style-type: none"> ❖ 静的生成・動的生成いずれも可 ❖ 環境が Movable Type に最適化されているため、管理画面の動作や再構築が高速 ❖ ソフトウェア版では上位版のみ搭載のサーバー配信機能付き ❖ サーバー監視、セキュリティ対策はおまかせ ❖ 無料引っ越しサービスを利用可 | <ul style="list-style-type: none"> ❖ 静的生成・動的生成いずれも可 ❖ Amazon EC2 のクラウド環境に簡単に構築可 ❖ マイクロインスタンスに限り、無料で利用可能 ❖ Movable Type のアップデートをyumコマンドで実施可 ❖ エンタープライズ向け上位版 Movable Type Advanced あり |
| サーバーの ご用意 | 不要 | 要 | 不要 | 不要 (Amazon EC2を使用) |
| プラグインの 追加可否 | X | ◎ | ○ | ○ |
| ライセンス 価格体系 ※税抜 | 2,500円~/月 25,000円~/年 <small>※ウェブサイト毎に14日間 無料トライアルあり</small> | 90,000円~ 1,500,000円 <small>※30日間の無料トライアルあり</small> | 月額5,000円~ <small>※トライアルなし</small> | 0.07ドル/時間 499ドル/年 0.7ドル/時間 4,999ドル/年 <small>※7日間無料トライアルあり。 マイクロインスタンスは無料</small> |
| テクニカル サポート | 月額利用料に含む <small>※ご契約の期間中は継続して テクニカルサポートを利用可能</small> | ライセンスに含む <small>※次回メジャーバージョンアップ（時 期未定）の1年後まで利用可能</small> | 月額利用料に含む <small>※ご契約の期間中は継続して テクニカルサポートを利用可能</small> | 10,000円/年 120,000円/年 <small>※テクニカルサポートは別売</small> |
| こんな場合に おすすめ | <ul style="list-style-type: none"> ❖ スマートフォン対応をしたいが、制作コストを抑えたい ❖ 運用コストを抑えながら、安全な環境でサイトを管理したい ❖ スモールスタートで始めたい | <ul style="list-style-type: none"> ❖ 既にある環境にインストールして使いたい ❖ オンプレミス環境の社内システムと連携させたい ❖ 複雑なカスタマイズが必要 | <ul style="list-style-type: none"> ❖ サーバー管理やセキュリティ対策の手間を減らして運用コストを抑えたい ❖ 自社／レンタルサーバーで運用中の旧バージョン Movable Type を最新版にしたい ❖ 常に安全な環境で、快適に利用したい | <ul style="list-style-type: none"> ❖ AWSを利用し、スケーラブルで可用性の高い運用をしたい ❖ Amazon EC2 上で、スムーズに Movable Type に最適化された環境を構築したい ❖ 期間限定のキャンペーンサイト |

ライセンス価格 – ソフトウェア版

ソフトウェアをダウンロードし、自社サーバーにインストールして使用するライセンスです。Movable Type 7 ライセンスでは、5月に正式リリース予定の Movable Type 7 と Movable Type 6 がダウンロード可能で、いずれかをご利用いただけます。
グループ・関連会社で共同利用される場合には、上位版の Movable Type Advanced をご利用ください。

| ライセンス名 | 価格（税抜） | 概要 |
|--|-----------------|--|
| Movable Type 7 (1サーバー・無制限ユーザー) | 90,000円 | Movable Type の基本パッケージです。 ※ 1年間のメンテナンスが付属しています。 ※ 新規に利用される方、Movable Type 5 以前のバージョンをご利用の方は、こちらをご購入ください。 |
| Movable Type 年間メンテナンス | 30,000円 | Movable Type 7 以降のバージョンに適用され、最新バージョンのダウンロードとメールによるテクニカルサポートが提供されます。1年毎に更新することでメンテナンスを継続できます。 ※ Movable Type 6、Movable Type 6 & 7、Movable Type 7 ライセンスをお持ちの方が購入可能です。 ※ 既に Movable Type 6 をお持ちの方は、こちらをご購入ください。Movable Type 7 をご利用になれます。 ※ Movable Type 7 リリース前に購入された場合は、リリース日から1年、リリース日以降に購入された場合は、購入から1年となります。 ※ 複数年の購入も可能です。メンテナンス期間中のメジャーバージョンアップにも対応します。 |
| Movable Type 7 ワークフローパック (1サーバー・無制限ユーザー) | 130,000円 | Movable Type 7 に、ワークフロー機能を追加するプラグイン「CheckRelease」(cherry-pick社製・単品価格 80,000円) が付いたお得なセット商品です。 |
| Movable Type 7 ステージングパック (1サーバー・無制限ユーザー) | 250,000円 | Movable Type 7 に、ステージング機能を追加するプラグイン「Uploader」(cherry-pick社製・単品価格 200,000円) が付いたお得なセット商品です。 |

ライセンス価格 – 機能強化版、上位版

機能強化版 Movable Type Premium

シックス・アパートと、エンタープライズに向けたCMS構築・ソリューション開発の経験豊富なスカイアーク社が共同開発した、Movable Type の機能強化版です。Movable Type 7 に、スカイアーク社独自のワークフロー機能や、ステージング機能、安全なプレビュー表示機能などが追加され、コンプライアンス管理の徹底を実現します。多機能だけど「かんたん」が特長です。

ライセンスには、フォームサービス「MovableType.net フォーム」のプロプランを1年間利用できるライセンスコードが付属しています。2年目以降のメンテナンスを購入する際、フォームサービスが不要な場合は「年間メンテナンス（フォームなし）」をお選びください。

| 名称 | 概要 | 価格 (税抜) | メンテナンス (税抜・次年度以降) |
|---|--|-------------------|------------------------|
| Movable Type Premium (1サーバー・無制限ユーザー) | Movable Type 7 の機能強化版です。 ※ 1年間のメンテナンスが付属。 ※ 「MovableType.net フォーム」のプロプラン（1年）が付属。 | 750,000円 | フォームあり 220,000円 |
| | | | フォームなし 180,000円 |
| Movable Type Premium (Advanced Edition) (サーバー・ユーザー数無制限) | Movable Type Advanced をベースにしたエンタープライズ向け上位版です。 ※ 1年間のメンテナンスが付属。 ※ 「MovableType.net フォーム」のプロプラン（1年）付属。 | 1,500,000円 | フォームあり 440,000円 |
| | | | フォームなし 360,000円 |

機能強化版 Movable Type Advanced

グループ・関連会社で共同利用される場合には、Movable Type Advanced をご利用ください。Oracle や Microsoft SQL Server などの商用データベースへの対応、グループによるユーザー管理、LDAPディレクトリとの連携機能を追加し、社内システムと連携した大規模運用環境にも適しています。

| 名称 | 概要 | 価格 (税抜) | メンテナンス (税抜・次年度以降) |
|--|---|-------------------|----------------------|
| Movable Type Advanced (サーバー・ユーザー数 無制限) | Movable Type Advanced の基本パッケージです。 ※ 1年間のメンテナンスが付属。 | 1,200,000円 | 240,000円 |

ライセンス価格 – AMI版

AMI 版 (Movable Type for AWS)

Movable Type がインストールされた、OS込みの Amazon Machine Image (AMI) です。OS、アプリケーション、ウェブサーバー、PSGIサーバー、PHP、データベースがすべて Movable Type にチューニングされた形で提供されるため、簡単に Amazon EC2 サーバー上に環境を構築できます。

| 名称 | 概要 | 価格 (税抜) |
|--------------------------------------|---|---------------------------|
| Movable Type for AWS | AWS Marketplace から簡単に始められる Movable Type です。 ※ Nginx版とApache版があります。 ※ ナノ・マイクロインスタンス (Nginx版でのみ提供) での利用の場合は、ライセンス料金が無料です。 | 0.07ドル／時間 499ドル／年 |
| Movable Type Advanced for AWS | AWS Marketplace から簡単に始められる Movable Type Advanced です。 ※ Apache版のみの提供となります。 | 0.7ドル／時間 4,999ドル／年 |

※ 時間課金のライセンスとなり、最新バージョン入手するための年間メンテナンス費は不要です。バージョンアップは yum update で可能です。

※ Movable Type 6 と Movable Type 7 は、AWS Market Place 上では別商品として展開予定です。Movable Type 6 でご利用いただいている既存のインスタンスの Movable Type 7 for AWS へのアップデートも可能です。

※ テクニカルサポートは付属していません。必要な場合は専用のサポート (10,000円／1年) をご購入ください。

クラウド版 プラン別 利用料金

| プラン | クラウド基盤 | CPU | メモリ | ディスク容量 | マルチドメイン | Webサーバー | Movable Type 6 / 7 | Movable Type Premium |
|---------|------------------|----------------------|------|--------|---------|----------------|--------------------|----------------------|
| S1i | IDCF Light.S1 | 1CPU (0.8GB相当) | 1GB | 10GB | X | Nginx | 5,000円 | 8,000円 |
| S2i | IDCF Light.S2 | 1CPU (1.6GB相当) | 2GB | 10GB | X | Nginx | 8,000円 | 12,800円 |
| S250i | IDCF Light.S2 | 1CPU (1.6GB相当) | 2GB | 50GB | X | Nginx | 12,000円 | 19,200円 |
| S4i | IDCF Standard.S4 | 1CPU (2.4GB相当) | 4GB | 10GB | ○ | Nginx / Apache | 19,000円 | 30,400円 |
| S450i | IDCF Standard.S4 | 1CPU (2.4GB相当) | 4GB | 50GB | ○ | Nginx / Apache | 28,000円 | 44,800円 |
| S4100i | IDCF Standard.S4 | 1CPU (2.4GB相当) | 4GB | 100GB | ○ | Nginx / Apache | 35,000円 | 56,000円 |
| S4300i | IDCF Standard.S4 | 1CPU (2.4GB相当) | 4GB | 300GB | ○ | Nginx / Apache | 60,000円 | 96,000円 |
| S4500i | IDCF Standard.S4 | 1CPU (2.4GB相当) | 4GB | 500GB | ○ | Nginx / Apache | 85,000円 | 136,000円 |
| M450i | IDCF HighCPU.M4 | 2CPU (2.6GHz相当x2) | 4GB | 50GB | ○ | Nginx / Apache | 42,000円 | 67,200円 |
| M4100i | IDCF HighCPU.M4 | 2CPU (2.6GHz相当x2) | 4GB | 100GB | ○ | Nginx / Apache | 60,000円 | 96,000円 |
| M1650i | IDCF HighMEM.M16 | 2CPU (2.2GHz相当x2) | 16GB | 50GB | ○ | Nginx / Apache | 67,000円 | 107,200円 |
| M16100i | IDCF HighMEM.M16 | 2CPU (2.2GHz相当x2) | 16GB | 100GB | ○ | Nginx / Apache | 87,000円 | 139,200円 |
| M16300i | IDCF HighMEM.M16 | 2CPU (2.2GHz相当x2) | 16GB | 300GB | ○ | Nginx / Apache | 107,000円 | 171,200円 |
| M16500i | IDCF HighMEM.M16 | 2CPU (2.2GHz相当x2) | 16GB | 500GB | ○ | Nginx / Apache | 127,000円 | 203,200円 |

※ それぞれに Movable Type 6 / 7 / Premium のプランがあります。※テクニカルサポートは月額料金に含まれます。※S4以上のプランで提供しているApache版はプラン名の後に「a」が付きます。※Movable Type 7 のプラン名には、「S4i7」「S4ia7」のように、さらにその後ろに「7」が付きます。※Movable Type Premium のプランには「7」の後に「P」が付きます。※利用可能ユーザー数、ログ・サイト数は無制限（複数ドメインでの運用はS4以上のプランでの契約が必要）。※ディスク容量に、コンテンツのバックアップファイル（1世代保持）とシステム領域は含まれません。※クラウド版では、Movable Type 7 のリリースから4年間、Movable Type 6 のメンテナンスが行われます。メンテナンス終了まで Movable Type 6 のまま安全に運用することができ、任意のタイミングで Movable Type 7 に移行いただけます。

MovableType.net プラン別 料金一覧

アカウントを作成すると、その内で複数のウェブサイトを作成・契約可能です。作成したウェブサイト毎に、容量やユーザー数、機能差を考慮してプランを選択可能です。

MovableType.net は、本資料でご案内する **Movable Type** シリーズとは、仕様や搭載されている機能が一部異なります。機能などの詳細は、公式サイトおよび **MovableType.net** のダウンロード資料をご参照ください。

<https://movabletype.net/>

| プラン | ライト | スタンダード | プロ | アドバンス50 | アドバンス100 | アドバンス250 |
|------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 月額料金（税抜） | 2,500円 | 4,500円 | 7,500円 | 15,000円 | 30,000円 | 75,000円 |
| 年間一括料金（税抜） | 25,000円 (2,084円／月) | 45,000円 (3,750円／月) | 75,000円 (6,250円／月) | 150,000円 (12,500円／月) | 300,000円 (25,000円／月) | 750,000円 (62,500円／月) |
| ブログ数 | 5 | 10 | 25 | 50 | 100 | 250 |
| ユーザー数 | 5 | 10 | 25 | 50 | 100 | 250 |
| 容量 | 5GB | 10GB | 25GB | 50GB | 100GB | 250GB |
| 転送量※1 | 100GB / 月 | 200GB / 月 | 400GB / 月 | 800GB / 月 | 1,000GB / 月 | 1,000GB / 月※3 |
| フォーム数 | 1 | 10 | 25 | 50 | 75 | 100 |
| ワークフロー数 | - | 5 | 10 | 20 | 30 | 40 |
| Webプッシュ通知 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 無料常時SSL化※2 | ○ (持ち込みSSLも利用可能) | ◎ | ◎ (持ち込みSSLも利用可能) | ◎ (持ち込みSSLも利用可能) | ◎ (持ち込みSSLも利用可能) | ◎ (持ち込みSSLも利用可能) |

上記以外にもプランごとに細かな差異があります。詳細はウェブサイトをご覧ください。

※1 転送量の上限に関しては目安とし、定常に超える場合には個別にご連絡・ご相談させていただきます。

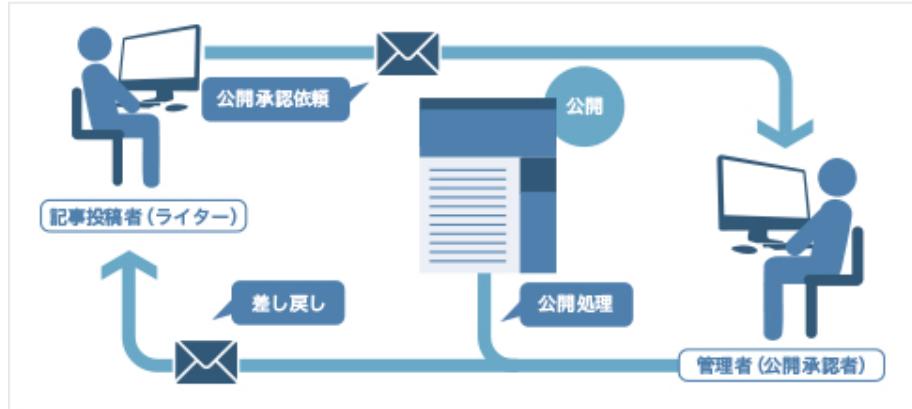
※2 全プランで標準ドメイン (*.movabletype.io)、独自ドメインともに追加費用なしに常時SSL化が可能です。スタンダードプラン以上では、独自に取得したSSL証明書が利用できます。

※3 アドバンス250にはSitelock CDNの利用と設定代行が含まれています。ご希望の際はサポートまでお問い合わせください。

低価格で承認フローを実現するワークフローパック

Movable Type ワークフローパック は、Movable Type ソフトウェア版のライセンスに、ワークフロー機能を追加し、記事の公開申請、承認処理をするためのプラグイン「CheckRelease for Movable Type」を同梱した、お得なセット製品です。

不適切な内容を含む記事や校正を経ていない記事が掲載されることを未然に防ぐことができるため、オウンドメディアなどの運用にも最適です。



| お得なセット製品 | | 単品製品 |
|--------------------|--|----------------------------------|
| | ワークフローパック | CheckRelease for Movable Type |
| 販売価格 | 130,000円（税抜） ↑ 4万円お得！ | |
| 通常購入価格 | 170,000円（税抜） (MT 7 ライセンス : 90,000円 + CheckRelease : 80,000円) | 80,000円（税抜） |
| Movable Type ライセンス | 付属する | 付属しない |

※ 「CheckRelease for Movable Type」は、Movable Type クラウド版にも対応しています。クラウド版をご利用のお客様は、単品の「CheckRelease for Movable Type」をご購入ください。

3環境の動機を実現するステージングパック

Movable Type ステージングパックは、Movable Type のライセンスに、管理するディレクトリ配下のファイルを別の環境に同期させるためのプラグイン「Uploader for Movable Type」を同梱した、お得なセット製品です。

開発・ステージング・本番の3環境の同期を実現でき、CMSと公開環境を分離することで安全なウェブサイト運営が可能。コンプライアンス管理を確実にします。



| お得なセット製品 | | 単品製品 |
|--------------------|--|------------------------------|
| | ステージングパック | UPloader for Movable Type |
| 販売価格 | 250,000円（税抜） ↑ 4万円お得！ | 200,000円（税抜） |
| 通常購入価格 | 290,000円（税抜） (MT 7 ライセンス : 90,000円 + CheckRelease : 200,000円) | |
| Movable Type ライセンス | 付属する | 付属しない |

※ 「Uploader for Movable Type」は、Movable Type クラウド版にも対応しています。クラウド版をご利用のお客様は、単品の「Uploader for Movable Type」をご購入ください。

エンタープライズ向け上位版

Movable Type Advanced は、Movable Type ソフトウェア版をベースに、Oracle データベースや Microsoft SQL Server などの商用データベースへの対応、グループによるユーザー管理、LDAP ディレクトリとの連携機能を追加。社内システムと連携した大規模運用環境にも適したエンタープライズに最適な上位版です。

| | Movable Type | Movable Type Advanced |
|----------------------|--------------|--|
| サイトの規模 | 小～中 | 中～大 |
| 利用範囲 | 同一企業内の社員 | 子会社、関連会社との共同利用、フランチャイズチェーンでの利用、複数の企業が参加する団体や協会 |
| サーバー数 | 1サーバー | 無制限サーバー |
| ユーザー数 | 無制限ユーザー | 無制限ユーザー |
| 対応データベース | MySQL | MySQL／Oracle／SQL Server |
| LDAPによる認証 | × | ○ |
| CSVによる一括登録・編集 | × | ○ |
| サーバー配信機能 | △ | ○ rsync/FTP(S)対応 |
| クラウド版のみ搭載 (FTP(S)のみ) | | |

機能強化版 Movable Type Premium

Movable Type Premium は、シックス・アパートと、エンタープライズに向けたCMS構築・ソリューション開発の経験豊富なスカイアーク社が共同開発した、Movable Type の機能強化版です。

柔軟な情報設計・コンテンツ運用が可能なMovable Type 7 に、スカイアーク社独自のワークフロー機能や、ステージング機能、安全なレビュー表示機能などが追加され、コンプライアンス管理の徹底を実現します。多機能だけど「かんたん」が、Movable Type Premium の特長です。

**エンタープライズでの大規模運用に最適な
Movable Type Advanced をベースにした Advanced Edition も提供しています。**

Movable Type Premium

The screenshot displays the Movable Type Premium interface. On the left, there's a sidebar with a user icon and the text 'システム'. Below it, a tree view shows categories like '株式会社スカイアーク' (with Site Page), 'お知らせ' (with news items), 'ニュースリリース' (cat77), '代表メッセージ' (cat76), 'エンジニアブログ' (cat75), and another 'Site Page'. The main area is the 'ダッシュボード' (Dashboard) which includes sections for 'サイトの構造' (Site Structure) with a tree view, '記事' (Articles) with a list of posts, and 'ウェブページ' (Web Pages) with a list of pages. On the right, there's a 'ログ' (Log) panel showing various system messages and activity logs.

Movable Type Premium の詳しい機能は次のページへ



多機能だけどかんたん！Movable Type Premium

フォルダやコンテンツデータ を階層表示

サイトマップナビゲーターが、サイトに属するフォルダ・カテゴリ・コンテンツデータを階層表示するため、サイト全体の構成をかんたんに把握できます。オブジェクトにマウスオーバーすると、実行できるアクションが一覧でき、直接フォルダ・カテゴリの作成も可能です。

柔軟に設定できる 多段階ワークフロー

ライターや更新担当者が編集した記事を、責任者が確認した上で公開を可能にする承認フローを実現。多段階のワークフロー設定や、部署やプロジェクト毎、ディレクトリ毎にそれぞれワークフローを設定することができ、柔軟に運用可能です。

運用に役立つ便利な 各種補助機能

公開するページにチェックをかけて、禁止ワードの使用やリンク切れが無いかを確認でき、コンプライアンス遵守の徹底、品質管理に役立ちます。その他、同時編集の抑制機能や、記事やページ、コンテンツデータの複製機能※2など、運用に役立つ補助機能も多数搭載しています。

適時開示※1に欠かせない セーフプレビュー

動的プレビューでファイルの公開を防ぎます。ページの指定日公開はもちろん、画像や文書ファイルにも公開／非公開のステータスを付与でき、ページの公開と同時に公開する設定が可能。そのため、IR情報などの公開前の情報漏洩を防ぎ、安全にプレビュー画面を確認できます。

未来のリビジョン作成 & 予約差し替え

保存前の状態に戻したい、違いを比較したい、そんなリビジョン管理もかんたん。公開中のコンテンツの差し替え版（未来のリビジョン）も作成でき、指定日時に差し替え可能。もちろん、未来のバージョンに紐づくアセットはコンテンツの公開と同時に公開されます。

移行に便利な CSV一括登録機能

ウェブサイトのCMS化は、HTML や画像ファイルの移行作業が大変ですが、コンテンツやアセットなどをCSVで一括でインポートできるので、作業の負荷を軽減。フォルダ／カテゴリ、ユーザーもCSVによる一括登録が可能。また、CSVファイルでのエクスポートも行えます。

安心・安全 セキュアシング機能

ステージングサーバーで確認後、公開サーバーに同期できます（FTP、rsync、AmazonS3 から選択可能）。除外したいパスや拡張子の設定ができるほか、ファイル単位での同期も可能。コンプライアンスを遵守でき、CMSと公開領域を分けることでセキュリティも担保されます。

管理画面を自由に カスタマイズ

JavaScript を使って管理画面をかんたん・自由自在にカスタマイズすることができるプラグイン「MTAppjQuery」（bit part 社）を同梱。フロントエンドの知識だけで手軽に管理画面のカスタマイズや制御が可能。運用の負荷を軽減し、使いやすさを格段に向上させられます。

MovableType.net フォーム プロプランが付属

かんたんなのに高機能な「MovableType.net フォーム」のプロプランを1年間（通常45,000円）利用できるライセンスコードが付属※3。ドラッグ＆ドロップでかんたんにフォームを作成でき、各種安全性にも配慮。サイボウズ社の「kintone」との連携にも対応しています。

※1 株式上場企業に義務付けられている「重要な会社情報の開示」のことで、株式等に関わる重要な会社情報を「適時」「適切に」提示する義務があります。

※2 コンテンツデータはコンテンツタイプ内の複製のみ対応。記事・ウェブページは異なるサイト・子サイトへの複製も可能です。

※3 ライセンス購入から2年目以降は「年間メンテナンス（フォームあり）」を購入することで、MovableType フォームを継続利用可能です。

さらに新機能を追加。Movable Type Premium

ZIPによる HTML・アセット一括インポート

HTMLやアセットのファイルをZIP形式で一括インポートできます。

記事やウェブページの登録、アセットの登録、カテゴリやフォルダの作成を一度に行えるので、サイトの移行などの際の手間を低減できます。

記事・ウェブページ・コンテンツデータに対応。



WCAG2.0 (JIS X 8341-3) 準拠のアクセシビリティチェック

昨今、公共機関のウェブサイトだけでなく民間のウェブサイトでも、ウェブアクセシビリティへの対応が重視されています。

Movable Type Premium の WCAG 機能では、プレビュー上でアクセシビリティチェックが可能。「WCAG2.0 (JIS X 8341-3)」レベル A ~ AAA のチェックが行えます。

ブログ記事・ウェブページ・コンテンツデータに対応。

The screenshot shows the Movable Type interface with an article titled 'Movable Type Premium' selected. A modal window titled 'Movable Type Premium' displays accessibility audit results. It includes a summary table with counts for Errors (21), Warnings (13), and Notices (57). Below the table, there's a 'Report' button. The main page shows a list of items under 'Movable Type Premiumに搭載される主な機能' (Features included in Movable Type Premium).

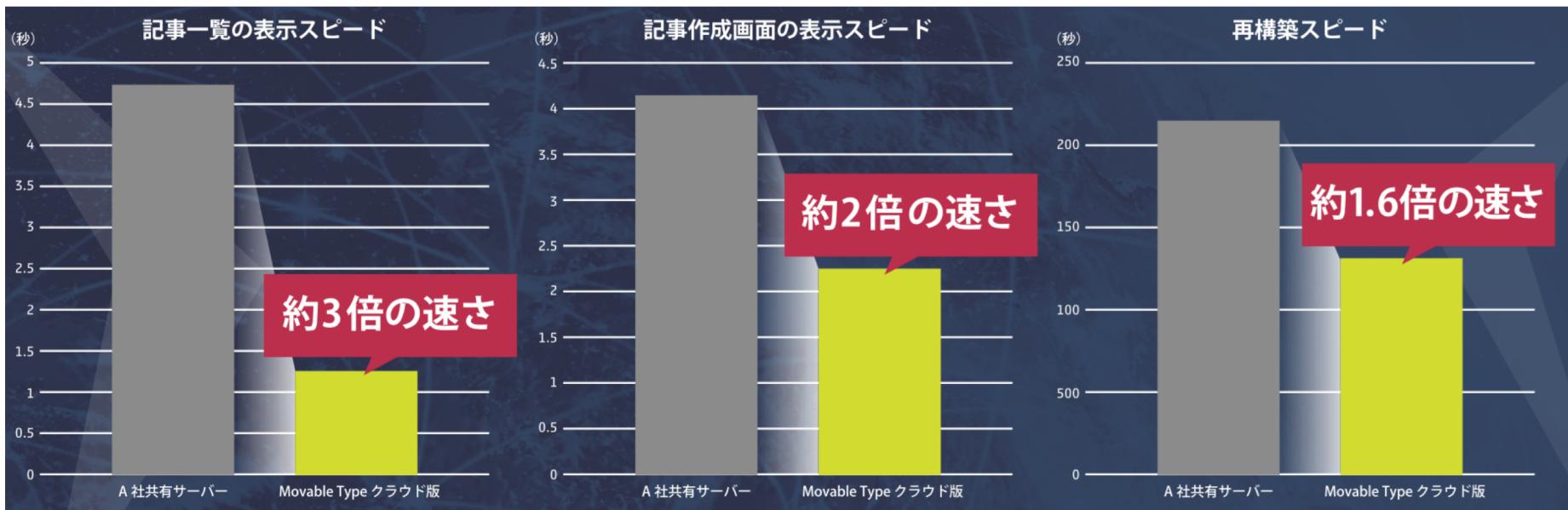
Movable Type for Premium は評価版の提供や、クラウド環境でのトライアルが可能です。製品案内ページよりご連絡ください。

<https://www.sixapart.jp/movabletype/solutions/mtpremium.html>

マネージドサービス型 Movable Type クラウド版

Movable Type クラウド版は、環境が Movable Type に最適化し、仮想サーバーの能力を最大限に発揮できるように、徹底的にチューニングされています。

管理画面の動作が高速で快適に利用でき、再構築スピードは、はソフトウェア版を標準的な構成で利用している場合の約1.6倍のパフォーマンスが出るようになっています。



※ 記事数920件で、同等スペックのサーバーに、ソフトウェア版を一般的な構成でインストールした環境と比較。

クラウド版の特長

クラウド環境にインストールされた最新版の Movable Type をそのまま利用できるサービスです。環境を Movable Type に最適化することにより、高いパフォーマンスを実現。バージョンアップや、サーバーのメンテナンスなどの作業は不要です。生成したコンテンツを外部のサーバーへ配信して公開できる「サーバー配信機能」も提供しています（ソフトウェア版では上位版の Movable Type Advanced のみで提供）。

高い信頼性

サーバー管理費
運用コストの削減

最適化による
高パフォーマンス

下記のようなケースに最適です

セキュリティ対策など、サーバーや管理者の手間を減らして運用コストを抑えたい

老朽化したサーバーを置き換える……でも、移設コストは抑えたい

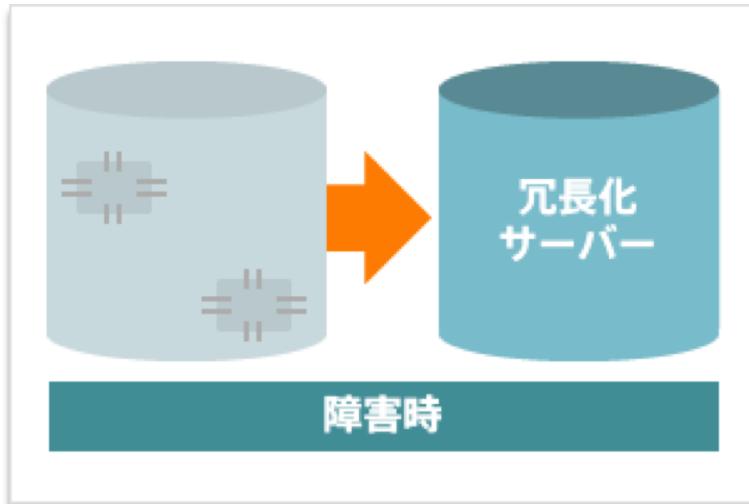
運用中の旧バージョンの Movable Type で構築したサイトを、
安全な最新バージョンに移行したい

快適な環境で Movable Type を利用したい

障害発生時の自動復旧／二重バックアップ

自動復旧機能

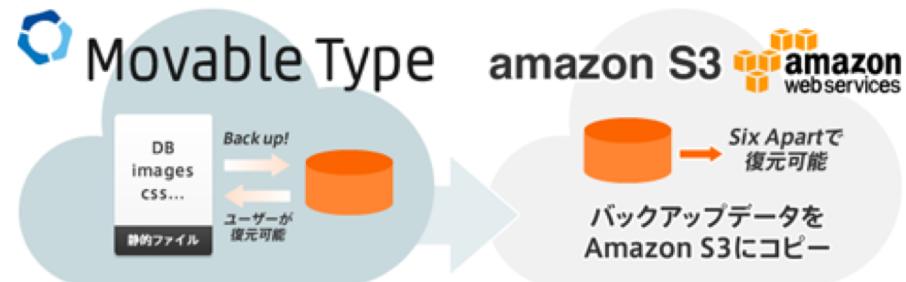
ハードウェアトラブルが発生しても、HA構成 (High Availability) により冗長化されているのでマシンに自動的に切り替わります。



定期バックアップ機能

前日のデータをバックアップしています。リストアも管理画面からお客様自身で行えます。

さらに、1日に1回、最新データをシックス・アパートが Amazon S3 (シックス・アパートが契約) に自動的にバックアップします。



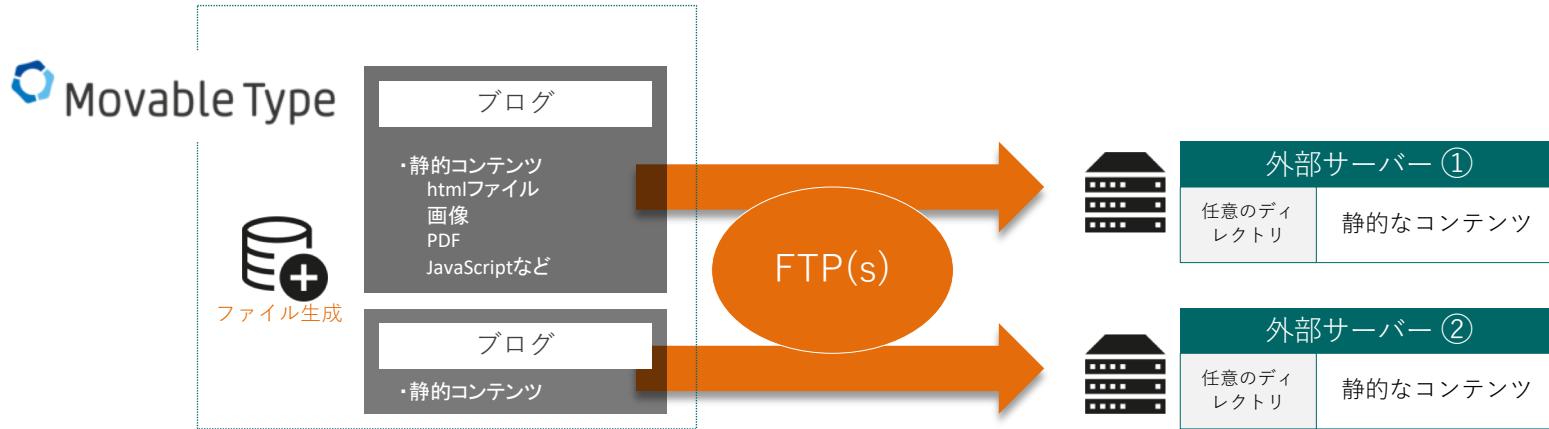
Movable Type クラウド版ではお客様のサーバーの動作を常時監視をしており、サーバーがダウンを確認した場合には、自動的にサーバーを復旧します。

サーバー配信機能

サーバー配信機能とは

「サーバー配信機能」は、 Movable Type クラウド版で生成した静的コンテンツを、 FTP または FTPs で任意の外部サーバーに転送できる機能です。

※ソフトウェア版では、本機能は、上位版 Movable Type Advanced のみでの提供となっています。



- Movable Type をステージング環境及び公開コンテンツのバックアップとして利用できる
- 既存のサーバーをそのまま公開サーバーとして利用できる
- コンテンツ公開用の外部サーバーには静的データを同期するだけのため Movable Type は不要
- ブログ単位で配信先を任意に指定できるので、1つの Movable Type で複数のサイトの管理が可能
- ECサイトやその他のプログラムと同じサーバー内（サイトの一部）でMTを使用している場合、MTの部分のみをクラウド版に移行し、元のサーバーに配信して公開することも可能

クラウド版のみで提供している機能

ベーシック認証機能

管理画面から特定のURL（ページ）に対してベーシック認証を設定できます。同一のURLに対して複数の認証設定が可能です。

HTTPリダイレクト機能

特定のページにアクセスがあった場合、予め指定したページを自動的に表示することが可能です。

FTPSアカウント

FTPSを利用することでプラグインやテーマ、画像など複数のファイルの一括アップロードが可能です。

データバックアップ機能

前日分のバックアップデータを自動的に保持します。また、シックス・アパート側で1日に1回、最新のデータを物理的に異なる場所に設置したデータストレージに自動的にコピーして二重のバックアップをしています。データセンターがサービス不能やデータ消失に陥った場合でも、最新のバックアップデータを使ってウェブサイトを復元可能です。

SSL証明書更新機能

管理画面から、すでに導入済みのSSL証明書の更新が可能です。また、CSRが不要の一部SSL証明書は新規追加も可能です。

MT環境変数編集機能

管理画面上から、MT環境変数を編集したり、追加・削除することができます。
※一部、利用できない環境変数があります。

環境のリストア機能

1日に1度、ウェブサイト全体を自動的にバックアップします。意図しない変更を加えてしまった場合も、前日の状態に戻すことが可能です。

ディスク容量の表示

ディスク容量を Movable Type の管理画面上で確認できるようになっています。

サーバー配信機能

Movable Type で生成したコンテンツを外部のサーバーへ配信して公開可能。情報漏えいや不正アクセスなどのセキュリティリスクを低減できます。

※ソフトウェア版では上位版の Movable Type Advanced で提供しています

クラウド版 サーバー仕様・設定の自由度《1》

| | Nginx版 | Apache版 |
|------------------------|--|---|
| 提供プラン | S1～M8 全プランで提供 | S4～M16 プランでのみ提供 |
| OS | CentOS 7 (64bit) | |
| Webサーバー | Nginx | Apache 2.4 系 |
| データベース | MySQL 5.7 系 | |
| PHP | PHP 5.6 系 | |
| SSHによる接続 | 不可 | |
| Root権限の提供 | 不可 | |
| FTPでの接続 | FTP / FTPS ※ 2アカウント利用可能 | |
| データベースの操作 | 不可 | |
| 独自CGIの実行 | クラウド版に対応した Movable Type プラグインにより追加されたCGIのみ実行可 | 可 ※ PerlスクリプトをCGIとして実行可能（拡張子 .cgi） ※ 独自スクリプトの動作を保証するものではありません ※ 独自スクリプトの動作については技術サポート対象外です |
| 独自PHPスクリプトの実行 | 不可 ※ プラグインにおけるPHPの動作については、開発元サポートでの対応となります | 可 ※ php-fpm で動作します ※ 独自スクリプトの動作を保証するものではありません ※ 独自スクリプトの動作については技術サポート対象外です |
| Perl モジュールの追加 | 一部可 ※ プラグインのextlibによる追加が可能 ※ コンパイルが必要なモジュールは追加できません | |
| PHPモジュールの追加 | 不可 | |
| .htaccessの使用 | 不可 | 可 ※AuthConfig / Indexes / FileInfo / Limit のみ |
| Basic認証の利用 | 可 ※ MT管理画面から可能 | 可 ※ .htaccess で可能 ※ MT管理画面から設定不可 |
| URLリダイレクトの利用 | 可 ※ MT管理画面から可能 | 可 ※ .htaccess で可能 ※ MT管理画面から設定不可 |
| 公開サイトへのIPアドレスによるアクセス制限 | 可 ※ MT管理画面から可能 | 可 ※ .htaccess で可能 ※ MT管理画面から設定不可 |

クラウド版 サーバー仕様・設定の自由度《2》

| | Nginx版 | Apache版 |
|------------------------------|--|----------------------|
| ユーザーエージェントを利用したアクセス制限・リダイレクト | 一部可 ※ S4以上のプランでサポートにて個別対応可 | 可 ※ .htaccess で可能 |
| マルチドメインでの公開 | 可 ※ S4 以上のプランでMT管理画面から可能（最大10件まで） | |
| 公開サイトのHTTPS対応 | 可 | |
| MT管理画面のHTTPS対応 | 可 | |
| 公開サイトのSSL証明書 | 可 ※ MT管理画面から可能 ※ ウェブサイト単位で設定可能 ※ SSL証明書は別途取得してください | |
| MT管理画面のSSL証明書 | MT管理画面から可能 | |
| サーバーサイドインクルード | 可 ※ Apache方式の サーバーサイドインクルードを利用可能 | |
| 管理画面のBasic認証 | MT管理画面から可能 | |
| 管理画面へのIPアドレスによるアクセス制御 | MT管理画面から可能 | |
| MT管理画面URLの変更 | MT管理画面から可能 | |
| mt-config.cgiファイルの直接編集 | 不可 | |
| MT環境変数の変更 | MT管理画面から設定可能 ※ 一部の環境変数は設定・変更できません | |
| 管理画面のカスタマイズ（alt-tmp機能） | 可 | |
| アップロードファイルの上限サイズ | 20MB | |
| プラグインのインストール | 可 ※ すべてのプラグインの動作を保証するものではありません | |
| MTのソースコードの編集 | 不可 | |
| cronの設定 | 不可 | |
| 定期実行（run-periodic-tasks） | 5分毎（固定）に実行 | |
| ディスク容量の確認 | MT管理画面から可能 | |
| 死活監視 | Movable Type の死活監視のみ ※ 公開サイト側の監視はしていません | |
| アクセスログの取得 | 可 ※ 最大30日分 | |

クラウド版 サーバー仕様・設定の自由度 《3》

| | Nginx版 | Apache版 |
|----------------------|--|---------|
| サーバー配信機能の配信方法 | FTP (S) のみ ※ rsyncはご利用いただけません | |
| 独自エラーページ | 可 | |
| 定期バックアップ | 1日1回（午前1時の時点） | |
| バックアップデータの管理世代数 | 1世代 | |
| サンドボックス | 利用可能（申し込み要・有料） | |
| FTP(s) アカウントのパスワード変更 | MT管理画面から可能 | |
| メールボックスの提供 | 無し ※ Movable Type クラウド版でのメールサービスの提供はありません。 ※ Movable Type クラウド版へのサイト移行をご希望で、現行のホスティングサーバーにて独自ドメインのメールサービスを契約されている場合は、メールサービスの契約を継続されるなど、ご対応ください。 | |

※ 個別対応可能なものに関しては、マイページにログインしていただき、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

※ インストール済のモジュール等、詳細はウェブサイトの「Movable Type クラウド版 サービス仕様」をご参照ください。

<https://www.sixapart.jp/movabletype/cloud/specification.html>

クラウド版に対応している主なプラグインのご紹介

携帯・マルチデバイス対応

ケータイキット for MTクラウド

フィーチャーフォンを含むマルチデバイスに対応したサイト構築を容易にするプラグイン。PC・携帯・スマートフォンサイトを一括管理できます。

価格：70,000円（税抜）

閲覧制限・会員サイト構築

A-Member PC for MTクラウド

会員登録機能やID／パスワードによる閲覧制限機能を持つサイトを構築できます。会員にグループ／ランクを設定し、表示情報の出し分けも可能です。

価格：70,000円（税抜）

画像アップロード機能補助

Image Upload Utility Pro

リサイズ、拡張子変換、ウォーターマーク（透かし画像）合成など、より高度なアップロード、編集ができ、アイテムアップロード周りの機能を強化できます。

価格：27,000円（税抜）

メールフォーム設置

A-Form PC for MTクラウド

お問い合わせやアンケートのフォームを簡単に設置できるプラグインです。管理画面から簡単に作成可能。メール通知や、SVダウンロード、レポートにも対応。

価格：30,000円（税抜）

MailForm

テンプレートの操作が可能な方であれば、低コストで、さまざまな形態のフォームを設置可能。フォームから送信された内容がメールで届きます。

価格：1,000円（税込）

承認ワークフロー機能の追加

Check Release

記事の公開申請、承認処理を可能にします。記事承認依頼や差し戻しはメールで通知。公開済みの記事修正も記事を削除／変更することなく作業できます。

価格：80,000円（税抜）

3環境の同期を実現

Uploader

MTが管理するディレクトリ配下のディレクトリ・ファイルを、別の環境に同期させるプラグイン。開発・ステージング・本番の3環境の同期を実現します。

価格：200,000円（税抜）

カスタムフィールド機能強化

FreeLayoutCustomField

Movable Type 管理画面上のカスタムフィールドを、HTMLとCSSでレイアウトすることができ、複雑な構造のデータの入力を容易にします。

価格：15,000円（税込）

管理画面カスタマイズ

MTAppJQuery

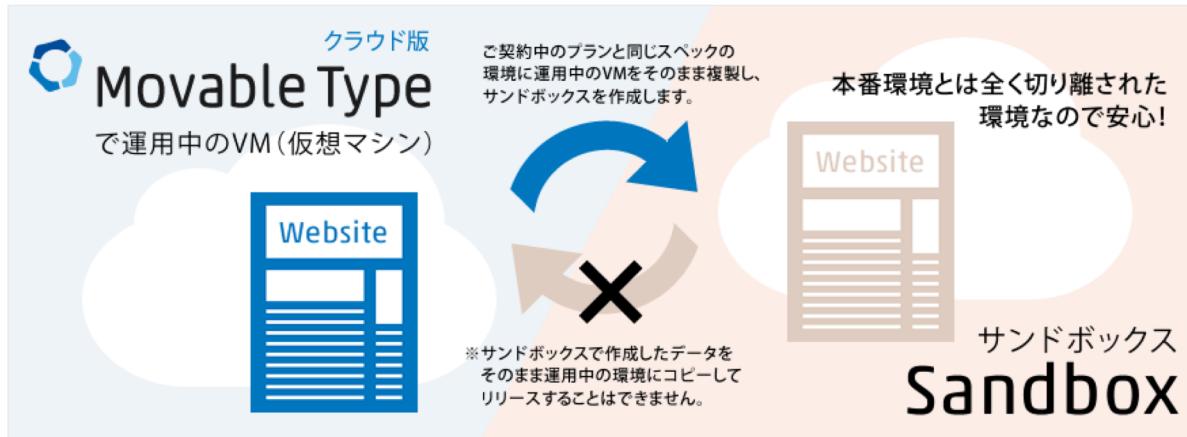
jQueryだけで、Movable Typeの管理画面をユーザーのニーズに合った形にカスタマイズできます。ユーザーの満足度が向上し、運用負荷の軽減につながります。

価格：25,000円（税抜）

※ 上記以外のクラウド版対応プラグインは、プラグインディレクトリをご覧ください。

【クラウド版 オプションサービス】サンドボックス

サンドボックスとは、本番のシステム、データに影響を一切及ぼさずに検証などが行える環境のことと言います。Movable Type クラウド版では、運用中の本番環境とは別に、ご契約プランと同じ環境に本番のデータなどをすべてコピーしたサンドボックス環境を作成するサービスをご用意しています。



自動アップデート前の検証、プラグインの検証、スタッフのトレーニング用などにご利用ください。

| | |
|----------------|---|
| サービス利用料金 | ご契約中のプランの月額料金1カ月分（+消費税） |
| サンドボックス利用可能期間 | お申し込み月の翌月末日まで |
| 申し込み期限 | 毎月25日まで（25日が休業の場合は直前の前の営業日） ※ 26日以降のお申し込みは翌月1日のお申し込み扱いとなります。 |
| 作成可能なサンドボックスの数 | Movable Type クラウド版 1契約につき 1つまで |

クラウド版 プラン名の見方

Movable Type クラウド版のプラン名は、CPUとメモリーのスペック毎に決まったシリーズ名（アルファベットと数字）+ ディスク容量（50GB以上ののみ）で表されています。

※ Movable Type クラウド版では、IDCFロンティア社のクラウド基盤を使用しています。



現在は、下表のように、各CPU／メモリーのスペック毎に、異なるディスク容量のプランを用意しています。

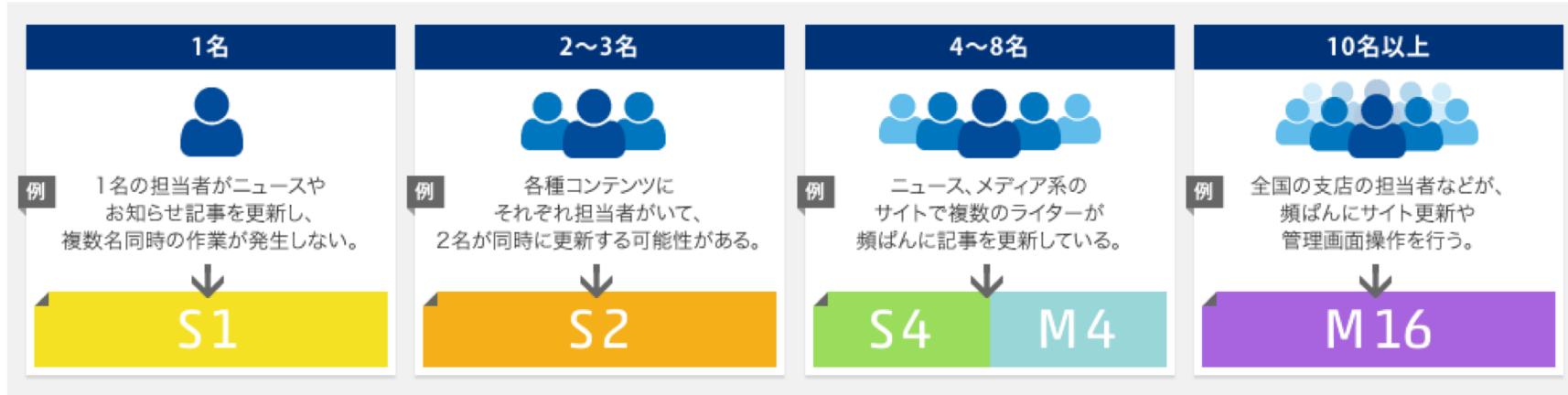
| CPU／メモリー | S1 | S2 | S4 | M4 | M16 |
|----------|--|--|---|--|--|
| ディスク容量 | 1CPU (0.8GHz相当) メモリー 1GB [IDCF Light.S1] | 1CPU (1.6GHz相当) メモリー 2GB [IDCF Light.S2] | 1CPU (2.4GHz相当) メモリー 4GB [IDCF Standard.S4] | 2CPU (2.6GHz相当x2) メモリー 4GB [IDCF HighCPU.M4] | 2CPU (2.2GHz相当x2) メモリー 16GB [IDCF HighMEM.M16] |
| 10GB | S1i | S2i | S4i | — | — |
| 50GB | — | S250i | S450i | M450i | M1650i |
| 100GB | — | — | S4100i | M4100i | M16100i |
| 300GB | — | — | S4300i | — | M16300i |
| 500GB | — | — | S4500i | — | M16500i |

※ S4以上のプランで提供しているApache版は、上記プラン名の後ろに a が付きます。また、Movable Type 7 のプラン名には、最後に「S4i7」 「S4ia7」のように、最後に「7」が付きます。

クラウド版 プラン選びのポイント《1》

Point 1 運用する人数は何名か？

作成できるウェブサイト／ブログ数、ユーザー数は無制限ですが、運用人数が多いほど、記事更新（再構築）などの処理が同時に発生する可能性が高くなります。再構築や検索など負荷の高い処理が集中してリクエストされた場合、プロセスがすべて使用されてタイムアウトが発生し、快適にご利用いただくことができません。そのため、下記、各プランの運用人数の目安を参考にしてください。



Point 2 どのようなプラグインを利用するのか？

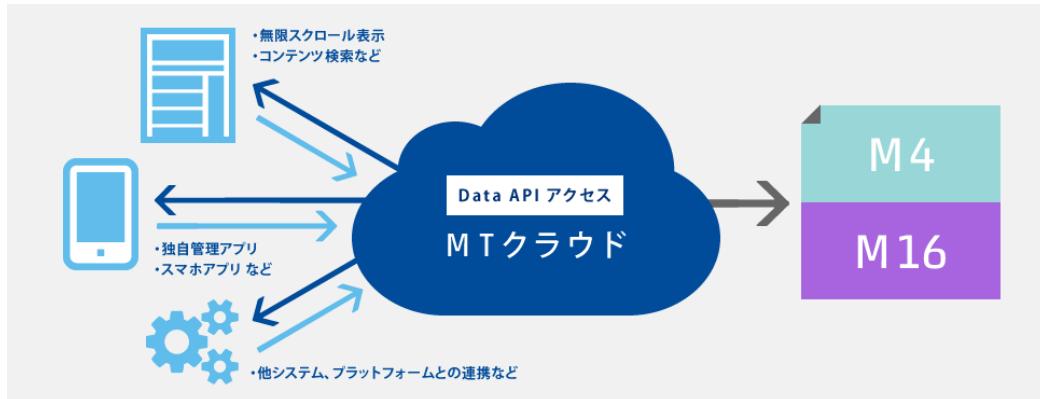
プラグインによりプロセスが発生していると、Point 1 と同様の原理で、操作の快適性が低下します。下記のようなプラグインを導入される場合は、快適にご利用いただくため、S2以上をお選びください。



クラウド版 プラン選びのポイント《2》

Point 3 Movable Type の Data API を使用する予定がある

Movable Type には、さまざまなプログラム言語から REST/JSON API で Movable Type にアクセスし、データの取得や更新ができる Data API が搭載されています。この Data API での読み書きが頻繁に行われると、操作や閲覧の快適性が低下します。使い方や、読み書きの発生頻度にもよりますが、Data API を使用される場合は、M4 以上のプランをおすすめします。



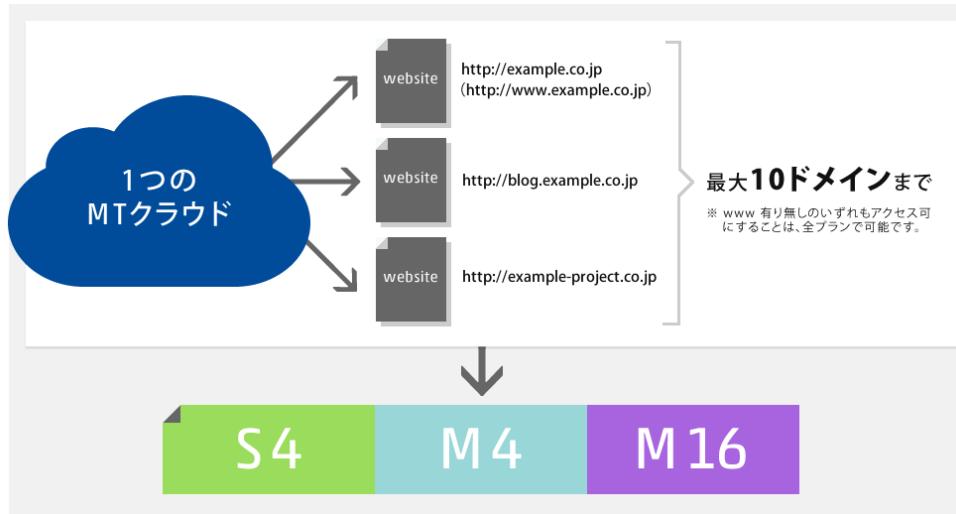
Point 4 オンプレミス環境やレンタルサーバー環境からそのまま移行したい

多くのオンプレミス環境やレンタルサーバー環境のWebサーバーには、Apacheが採用されています。Movable Type クラウド版のWebサーバーは、軽量なNginxが基本となっていますが、S4、M4、M16 では、Apache版を選択可能です。Apache版では.htaccessを利用した各種設定も可能です。



クラウド版 プラン選びのポイント《3》

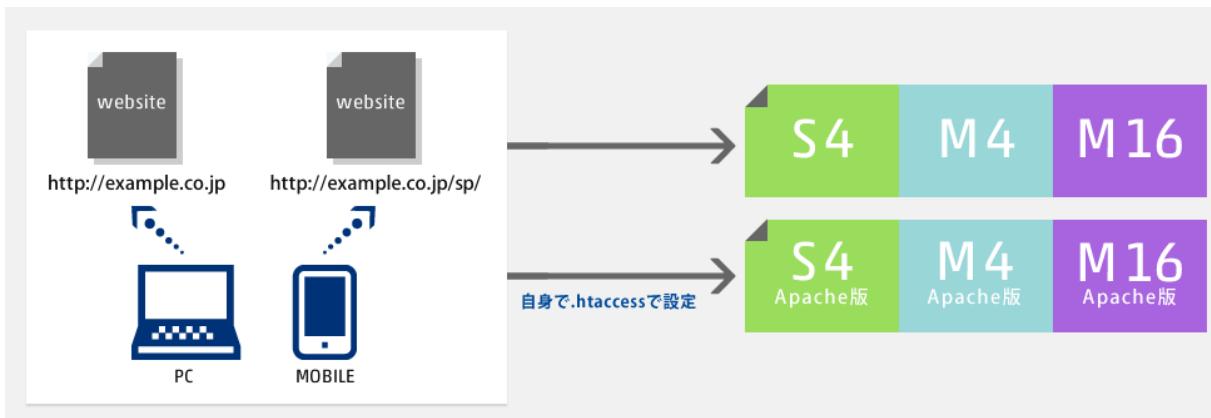
Point 5 マルチドメインでサイトを運用したい



S4、M4、M16 のプランでは、1契約（1つのクラウドインスタンス）の Movable Type 内に構築するウェブサイト単位で、それぞれドメインを設定することが可能です。

Point 6 モバイルアクセスの振り分けをしたい

PC向けサイトと異なるURLでモバイルサイトを用意し、自動で振り分けて表示させる場合など、ユーザーエージェントによるリダイレクトが必要な場合は、S4、M4、M16プランをお選びください。さらにApache版であれば .htaccess を利用してご自身での設定が可能です。

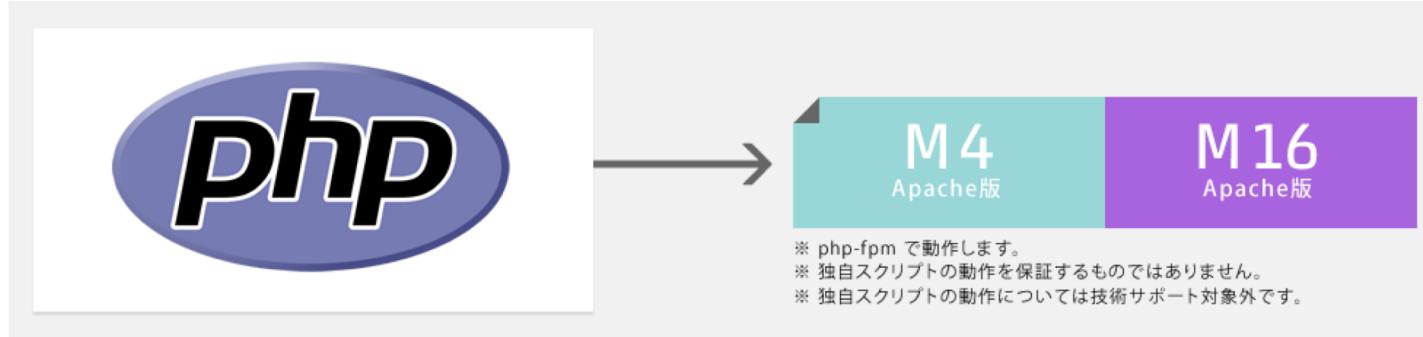


クラウド版 プラン選びのポイント 《4》

Point 7 独自PHPスクリプトを使用したい

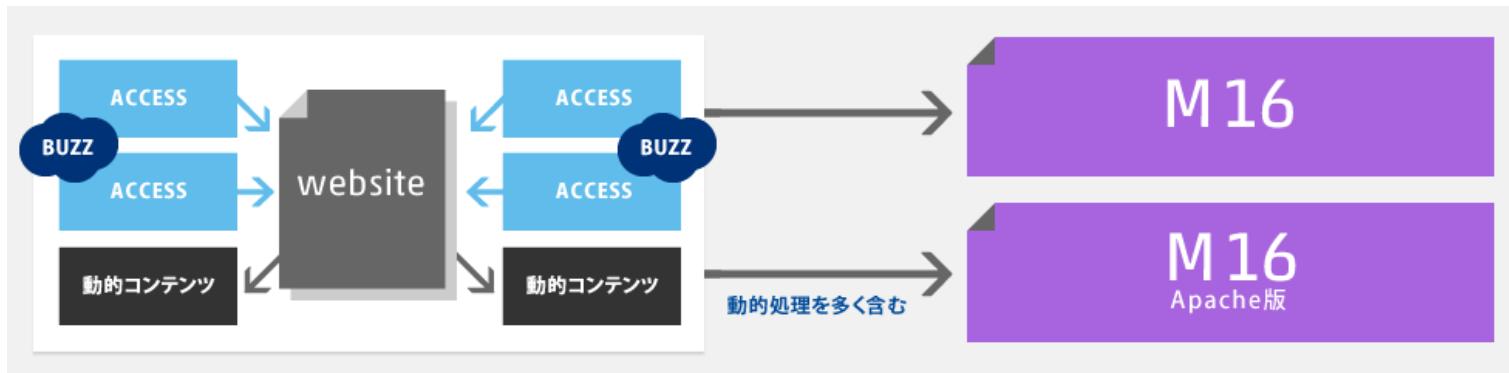
Movable Type のダイナミックパブリッシングではPHPを使用するため、Nginx版でも一部のPHPコードは利用可能ですが、基本的にはNginx版では独自PHPスクリプトの実行は不可となっています。独自PHPスクリプトを利用されたい場合は、Apache版（S4、M8）をお選びください。

※ ダイナミックパブリッシングおよびクラウド版対応済みのプラグイン（A-Form、A-Member、ケータイキットなど）におけるPHPについては、Nginx版でも動作します。



Point 8 月間100万PV以上のアクセスが予想される

ウェブサイト側で月間100万PVを超える多数のアクセス数が見込まれ、表示パフォーマンスを維持する必要がある場合はM8をお選びください。特にApache版の場合は、PHPの実行数が多い場合にも有効です。



このほか、クラウド版のサービス仕様も確認のうえ、プランをお選びください。

クラウド版 プラン選びのポイント《5》

Point 9 Movable Type 7 か、Movable Type 6 か？

2018年5月より、最新バージョン Movable Type 7 のクラウド版の提供を開始しています。Movable Type 7 では、新機能「コンテンツタイプ」を使って、これまでの「記事+カスタムフィールド」という形ではなく、出力結果を考慮して構造化されたコンテンツデータを作成でき、より可用性の高いコンテンツ運用が可能になります。

クラウド版では、当面 Movable Type 7 と Movable Type 6 の両バージョンを併売しています。クラウド版においては、Movable Type 6 のメンテナンスが2022年5月16日まで行われるため、比較的長期間、Movable Type 6 のまま安全に運用可能で、メンテナンス期間中の任意のタイミングで Movable Type 7 への移行が可能です。

新たにサイトを作成される場合は、最新バージョン Movable Type 7 のご利用をおすすめしますが、ケースによっては、Movable Type 6 のプランをお申し込みください。

Movable Type 7 をおすすめするケース

Case 1 Movable Type 7 の新機能を活かして新サイトを作成したい

Case 2 旧バージョンで運用中のサイトを、Movable Type 7 の新機能を活かしてリニューアルしたい

Case 3 旧バージョンで運用中のサイトを、Movable Type 7 の新機能を使用せずそのままバージョンアップしたい

Movable Type 7 をおすすめするケース

Case 1 旧バージョンで運用中のサイトを、ひとまず安全なクラウド版に移行したい

Case 2 無料引っ越しサービス事前調査で、Movable Type 7 への無料引っ越しは対応不可だったので、ひとまずそのまま移行したい

Case 3 Movable Type 7 に対応していないプラグインをどうしても使用する必要がある

注意点：

旧バージョンで利用していたプラグインが利用できなくなる場合があります。主なプラグインの対応予定については、こちらで紹介しています。

クラウド版 無料引っ越しサービス

CMSのバージョンアップ、データの移行などの作業は簡単とは言えません。

そんな場合はぜひ、「Movable Type クラウド版 無料引っ越しサービス」をご活用ください。

Movable Type をご利用の方

現在 Movable Type の古いバージョンで運用しているサイトを、最新バージョンにしたい方や、バージョンアップのためだけに高いコストをかけられない方におすすめです。

Movable Type 以外のCMSをご利用の方

Movable Type 以外のサイトからの移行をご希望の場合はお問い合わせください。記事データや画像ファイルの移行が可能な場合もあります。

無料

ご利用には Movable Type クラウド版 にお申し込みが必要です

Movable Type クラウド版にお申し込みいただき、正式契約から1年以内に、1回のみ申し込み可能です。正式契約後、Movable Type クラウド版マイページにログインいただき、無料引っ越しサービスにお申し込みください。お申し込みの際は、下記のURLに掲載されている各種条件を必ずお読みください。お申し込み前に移行が可能かどうか確認することが可能です。お問い合わせフォームよりお問い合わせください。

※現状のウェブサイト（Movable Type で管理されている部分のみ）をバージョンアップしてクラウド版で正常に動くように移行作業を行います。
デザイン変更、スマートフォン対応などをご希望の場合は、お付き合いのある制作会社もしくはシックス・アパートのパートナー「ProNet」にご相談ください。

無料引っ越しサービスの詳細・お問い合わせはこちら

<http://www.sixapart.jp/movabletype/cloud/migration-service.html>

AMI版 Movable Type for AWS

Movable Type for AWS は、Movable Type がインストールされた、OS込みの Amazon Machine Image (AMI) です。Nginx版とApache版の2種で提供しています。

OS、アプリケーション、ウェブサーバー、PSGIサーバー、PHP、データベースがすべて Movable Type にチューニングされた形で提供されるため、数クリックで簡単に Amazon EC2 サーバー上に環境を構築できます。

バージョンアップ作業は yum update で可能です。

※ Movable Type 6 と Movable Type 7 は、AWS Market Place 上では別商品として展開しています。

Movable Type 6 ご利用いただいている既存のインスタンスの Movable Type 7 for AWS へのアップデートも可能です。

ライセンス料金は時間課金／年払いが選択可能

時間課金：0.07ドル／1時間

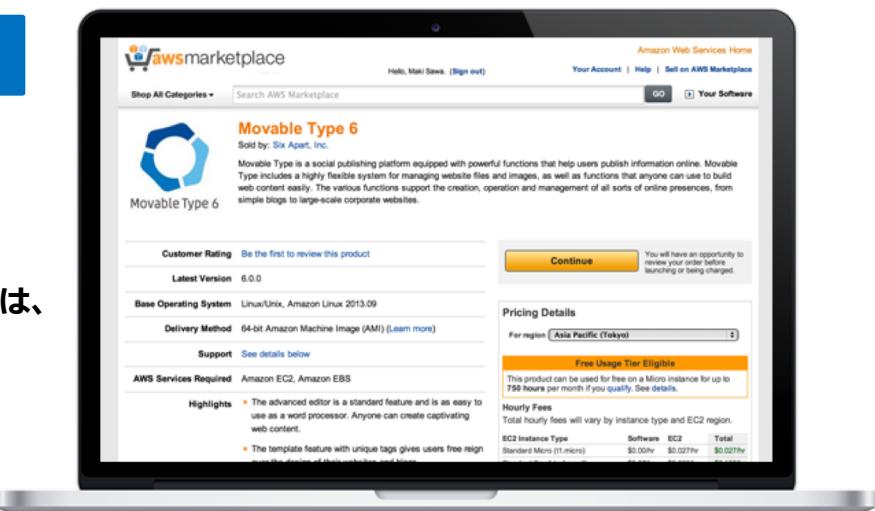
年払い：499ドル／1年 → 年間約114ドルお得

※サポートが必要な場合は別途購入（1万円／1年）が必要です。

**T1 および T2 マイクロインスタンスでのご利用については、
時間払い／年払いを問わずライセンス料が無料**

※マイクロインスタンスでの提供はnginx版のみとなります

**初めてのご利用の場合、全インスタンスで、
7日間の無料トライアルが可能**



システム構成

| | | |
|--|------------------------------------|--|
| アプリケーション：Movable Type 6/7 PSGI サーバー：starman | OS : Amazon Linux PHP : php-fpm | ウェブサーバー : nginx/Apache データベース : MySQL |
|--|------------------------------------|--|

Movable Type for AWS は、AWS Marketplace から簡単に始められます。詳細およびスタートガイドをウェブサイトで公開しています。

<http://www.sixapart.jp/movabletype/aws/>

AMI版 Movable Type Advanced for AWS

エンタープライズ向けの上位版 Movable Type Advanced のAMIも提供しています。LDAP 連携が可能なため、オンプレミスのLDAPや、AWSのディレクトリサービスを利用したユーザー認証も可能。サーバー配信機能も利用できます。もちろん、yum update によるアップデートが可能です。

※ Movable Type Advanced for AWS はApache版のみの提供となります。

ライセンス料金は時間課金／年払いが選択可能

時間課金：0.7ドル／1時間

年払い：4,999ドル／1年 → 年間約1,133ドルお得

※micro/nano インスタンスではご利用いただけません。

※サポートが必要な場合は別途購入（12万円／1年）が必要です。

テクニカルサポートを除く年間メンテナンスが利用料金に含まれており、追加料金なしでメジャーバージョンアップ時の最新バージョンを提供

初めてのご利用の場合、全インスタンスで、7日間の無料トライアルが可能

Movable Type Advanced (HVM, Apache)
Sold by: Six Apart, Inc.

Pricing Details
For region: US East (N. Virginia)
Hourly Fees: Software annual pricing savings over hourly: 10%
Hourly: Annual

| EC2 Instance Type | EC2 Usage | Software | Total |
|-------------------|------------|-----------|------------|
| t2.small | \$0.028/hr | \$0.70/hr | \$0.726/hr |
| t2.medium | \$0.052/hr | \$0.70/hr | \$0.752/hr |
| t2.large | \$0.104/hr | \$0.70/hr | \$0.804/hr |
| m4.large | \$0.12hr | \$0.70/hr | \$0.82hr |
| m4.xlarge | \$0.239hr | \$0.70/hr | \$0.939hr |
| mx1.2xlarge | \$0.44hr | \$0.70/hr | \$1.179hr |
| mx1.4xlarge | \$0.88hr | \$0.70/hr | \$1.598hr |
| m4.4xlarge | \$2.94hr | \$0.70/hr | \$3.994hr |
| m3.medium | \$0.067hr | \$0.70/hr | \$0.767hr |
| m3.large | \$0.133hr | \$0.70/hr | \$0.833hr |
| m3.xlarge | \$0.266hr | \$0.70/hr | \$0.966hr |
| m3.2xlarge | \$0.532hr | \$0.70/hr | \$1.232hr |
| cr1.xlarge | \$0.105hr | \$0.70/hr | \$0.805hr |
| cr1.xlarge | \$0.209hr | \$0.70/hr | \$0.909hr |

システム構成

アプリケーション：Movable Type Advanced OS : Amazon Linux ウェブサーバー : Apache
PSGI サーバー : starman PHP : php-fpm データベース : MySQL

Movable Type for AWS は、AWS Marketplace から簡単に始められます。詳細およびスタートガイドをウェブサイトで公開しています。

<http://www.sixapart.jp/movabletype/aws/>

企業ユースに適した信頼性の高いプラグイン

企業利用に最適なプラグイン、ソリューションで、Movable Type の機能を拡張し、さらにウェブサイト構築の自由度と、運用時の操作性を高めることができます。多くが、シックス・アパートのパートナーが提供、もしくはシックス・アパートと情報共有されているプラグインのため、信頼性が高く、安心して利用可能です。

| | | |
|--|--|---|
| <p>Movable Type advanced</p> <p>商用データベースやLDAP連携に対応 マルチサーバーで利用可能な大規模運用向け</p> | <p>Movable Type Premium</p> <p>多機能だけど、操作はかんたん エンタープライズに必須の機能を追加</p> | <p>Movable Type workflow pack</p> <p>Movable Type + CheckRelease のお得 なパッケージ</p> |
| <p>Check Release for Movable Type</p> <p>記事公開承認ワークフローブラグイン</p> | <p>Uploader for Movable Type</p> <p>CMSからステージングと本番に配信でき、3 環境の同期を実現</p> | <p>KETAI KIT for Movable Type</p> <p>Movable Type をスマートフォン・携帯対 応</p> |
| <p>SheetAsset for Movable Type</p> <p>CSV/Excelデータを Movable Type で活 用</p> | <p>Movable Type .net フォーム</p> <p>多様なフォームを貼り付け簡単設置 スマートフォンでも使いやすいフォームサー ビス</p> | <p>MailForm</p> <p>低コストでメールフォームを設置</p> |

詳細はウェブサイトをご覧ください

<http://www.sixapart.jp/movabletype/solutions/>

ソフトウェア版 導入事例 《1》

株式会社集英社様

更新頻度が多く、さまざまな仕様の異なるページを用意する必要があったため、テンプレート機能とテキストの出力によって、プラグインなどに頼らず各ページを制作することができる Movable Type を選定。



<http://cobalt.shueisha.co.jp/>

事例データ

Movable Type

導入効果

画像やバナーの変更などの管理も簡単に

更新部分は連携してすべてのページで一度に反映できるように

小説の閲覧数やさまざまな賞への応募数などがそれぞれ順調に増加

ソフトウェア版 導入事例 《2》

ぐるなび様

メーカーサポートや、細かい権限設定、承認ワークフローなどを重視。1ライセンスでインストールサーバー数、利用ユーザー数が無制限にもかかわらず、エンタープライズCMSの中ではかなり低コストだったことから Movable Type Advanced を選定。

The screenshot shows the homepage of the Gruvnaibi website. It features a top navigation bar with links for restaurants, areas, and events. Below this is a search bar with dropdowns for area and name, and buttons for 'Search' and 'Nearby'. A promotional banner for 'JAPAN RESTAURANT WEEK 2015' is displayed. On the left, there's a sidebar with filters for 'Restaurants', 'Outings', 'Reviews', 'Weddings', 'Scenery', and 'Plan Search'. The main content area includes a map of the Kanto region with specific areas highlighted (Gunma, Saitama, Tokyo, Kanagawa, Chiba), and several promotional banners for 'Summer Banquet Special Edition' and 'August's Gourmet Special Edition'.

<http://www.gnavi.co.jp/>

事例データ

Movable Type Advanced

サイトの移行時期：2013年4月

導入効果

更新作業の負荷軽減とスピード向上

社内のCMS基盤が一元化されたことにより、新規サイト立ち上げの時間も短縮され、スピーディにサイトを立ち上げることが可能に。

ソフトウェア版 導入事例 《3》

東京書籍株式会社様

先生のための教科書コミュニティサイト「教えUP!」。Microsoft Azure と Data API の組み合わせで、サイトの安定運用を実現。ユーザー認証における他システムとの連携も Movable Type Advanced で可能に。

The screenshot shows the homepage of the 'oshieup.edutown.jp' website. At the top, there's a navigation bar with icons for EduTown, English, and other language options. Below it, a large logo for '教えUP!' (oshieUP!) is displayed, with '(β版)' indicating it's a beta version. The main content area has a heading '先生のための教科書コミュニティ「教えUP!」'. Below this, there's a brief introduction about the site's purpose: '『教えUP!』は全国の先生のためのコミュニティです。教科書の内容を中心とした指導上の工夫や質問で先生同士のつながりを深め、より良い授業が行えるようお互いの指導力を高めることを目指しています(現在はβ版として東京書籍の高校数学版で公開中です)。教科書の紙面を見ながら投稿することができ、日々の授業でのちょっとしたアイデアや指導改善の内容を全国の先生と共有することができます。EduTown ID(東書EネットID)をお持ちの先生方であれば、無料でお使いいただけます。' At the bottom, there are three sections: '教科書' (textbook), '指導上の工夫' (teaching methods), and '数式入力' (formula input), each with a small preview image.

<https://oshieup.edutown.jp/>

事例データ

Movable Type Advanced

サイトの公開時期：2014年8月

導入効果

将来的なユーザー増を想定し、CPUやメモリなどのスペックを柔軟に変更できるクラウドサービス・Microsoft Azureと、インストールサーバー数に制限が無い Advanced を選定

Movable Type Advanced、Microsoft Azure、Data API をそれぞれ効果的に活用、将来的なユーザー増加にも耐えられるサービスを実現

きめ細やかなユーザーの権限管理が可能に

クラウド版 導入事例 《1》

ソニー銀行株式会社様

ソーシャルメディア上で顧客とコミュニケーションを行っていくためのプランディングツールとしてブログを開設。



事例データ

Movable Type クラウド版

サイトの公開時期：2013年6月

導入効果

レスポンシブデザインを採用し、モバイルでの閲覧に配慮。

情報の更新は特にWebのコーディング等の専門知識がない担当者が問題なく行えている

<http://blog.moneykit.net/>

クラウド版 導入事例 《2》

東レACS株式会社

2年間で大規模な障害が14回、DBへの接続エラーなどによってサイトが表示不可になる小規模な不具合が、1~2カ月に1回。自社サーバーでWordPressで運用することに限界を感じ、静的なページ生成とマネージドサービスである点を重視し、Movable Type クラウド版に移行。



<https://www.toray-acs.co.jp/>

事例データ

Movable Type クラウド版

移行時期：2018年5月

導入効果

サイトの挙動が安定し、閲覧不可となる障害はゼロに

ページの表示も体感的に速くなり、パフォーマンスは格段に高まった

CMSの保守、運用を任せることができていることが安心につながっている

クラウド版 導入事例 《3》

スモビバ！（弥生株式会社様）

オウンドメディアの開設にあたり、ミドルウェアの脆弱性をついたサイバー攻撃のリスクなどを低減するために、CMSはサーバーにインストールせず、クラウド版を選択する方向に。サーバー配信機能で、ステージングと本番環境を切り分けた運用を行っている。

The screenshot shows the homepage of the SumoViva website. At the top, there's a header with the site's name and some social media links. Below the header, there's a large image of a calendar with the date '15' and the word 'TAX'. To the right of the image, there's a section titled '[2016年版] 平成27年分 確定申告丸わかりガイド'. Below this, there's another section with a dog's face looking through binoculars, titled '確定申告を行う場所"納税地"はどこか？'. On the right side of the page, there are several navigation links and a sidebar with more tax-related information.

<http://www.sumoviva.jp/>

事例データ

Movable Type クラウド版

移行時期：2013年12月

導入効果

ステージング環境と本番環境を分けることによる運用のしやすさ、セキュリティのニーズに対応した運用が可能になった

マネージドサービスという利用ハードルの低さや、サポートの手厚さなどで、安心して運用できている

AMI版（Movable Type for AWS）導入事例

COACH UNITED（株式会社イースリー様）

高トラフィック対策として Amazon EC2 で構築することが前提だったため、導入が簡単で、環境がMTにチューニングされた形で提供される「Movable Type for AWS」を採用。さらに、Data API を活用した無限スクロールで、ユーザーのストレスを軽減。



<http://coachunited.jp/>

事例データ

Movable Type for AWS

サイトの公開時期：2014年2月

導入効果

AMI版を利用することでMTに最適化された環境構築の手間を削減。高トラフィックにも耐えるサイトに

「Data API」の活用で無限スクロールを実装し、ユーザビリティを向上

リピーター率70%超とロイヤリティの高いサイトを実現

全国約300社のパートナー ProNet

Movable Typeの構築経験が豊富な、全国約300のパートナーが導入前のサポートから実際の構築、メンテナンスなどをサポートします。

制作者の方へ

パートナー募集

Movable Type ライセンス等、シックス・アパート製品の割引価格での製品購入

Movable Type、MovableType.net、
Movable Type Advanced
などの評価版の提供

全国約300社

などのパートナー特典をご提供します。

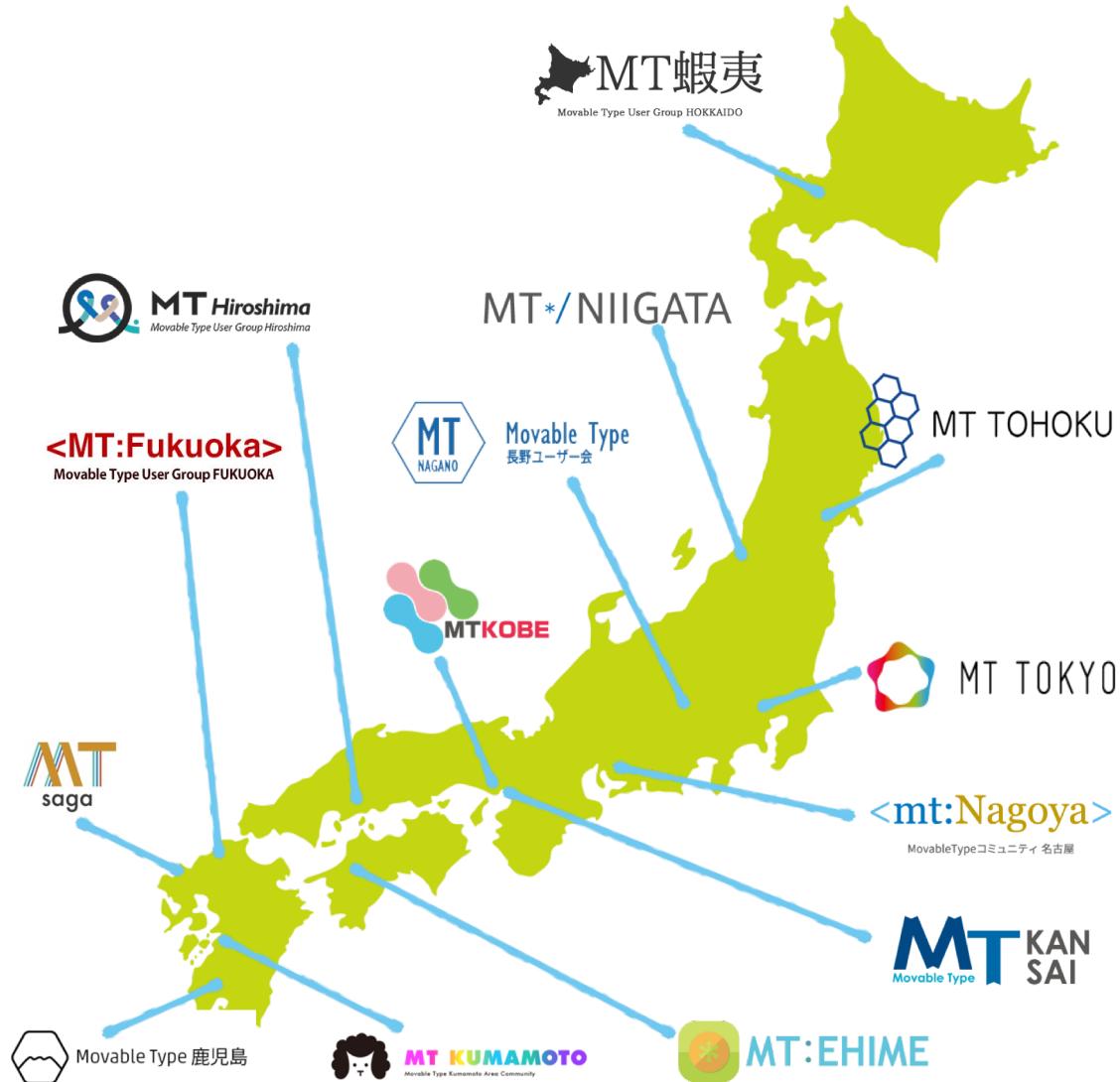


パートナー一覧

<http://www.sixapart.jp/pronet/partner/>

各地のユーザーグループ

Movable Type や Web に関する知識の共有、技術の向上を目指し、各地で ユーザーグループが形成されています。他の開発者、WEB 制作者と交流をしながら、情報収集や交流が行えます。



◆ 全国15拠点のユーザーグループ

- ❖ 北海道
- ❖ 神戸
- ❖ 東北
- ❖ 広島
- ❖ 東京
- ❖ 愛媛
- ❖ 新潟
- ❖ 福岡
- ❖ 長野
- ❖ 鹿児島
- ❖ 北陸
- ❖ 佐賀
- ❖ 名古屋
- ❖ 熊本
- ❖ 関西

◆ 各地で開催されているイベント

- ❖ MTDDC Meetup
- ❖ MT 勉強会
- ❖ MT Cafe (小規模な交流イベント)
- ❖ MT Live (もくもく会・相談会)

テクニカルサポート・公式ドキュメント

技術的な疑問やトラブルが発生したときに、周囲に詳しい人がいない……。そんなときも、Movable Type ならメールでのテクニカルサポートが受けられるので安心です。



ソフトウェア版

ソフトウェア版（Movable Type Advanced含む）のライセンスには、購入から1年間のテクニカルサポートが含まれ、1年毎にメンテナンスを更新することによりサポート期間は1年単位で延長する事が可能です。Movable Type for AWS（AMI版）は、サポートが別売となり1年毎の購入が必要です。



クラウド版

クラウド版は、いずれのプランも月々のご利用料金にテクニカルサポートが含まれています。契約期間中は、継続してテクニカルサポートをご利用いただけます。

※ Movable Type 6 のサポートはソフトウェア版（Movable Type Advanced 含む）、クラウド版、AMI版ともに、プロダクト・ライフサイクルポリシーに従い、EOM（End of Maintenance）時に終了します。

公式マニュアル・
ドキュメントは
MovableType.jp へ

Movable Type の使い方、タグリファレンス、開発者向けのドキュメントなどは、ドキュメントサイト「MovableType.jp」で公開しています。

<https://www.movabletype.jp/>

The screenshot shows the 'Manual' page of the MovableType.jp documentation. The top navigation bar includes links for 'MovableType.jp', 'プラグイン・テーマディレクトリ', 'MTQ', 'ログイン', '登録', '新規会員登録', 'ログイン', '新規会員登録', and 'ライセンス購入'. The main content area has a dark blue header with the word 'Manual' in white. Below the header is a sidebar with 'ロール別ガイド' (Role-based Guide) sections for 'スタートガイド', '管理者ガイド', 'ユーザーガイド', and 'デザイナーガイド'. The main content area contains a search bar and a 'スタートガイド' (Getting Started) section with a power icon and text about installing and using Movable Type.

お問い合わせ・その他の情報

製品詳細

購入

トライアル

最新
情報

<https://www.sixapart.jp/movabletype/>

詳しい使い方などの
マニュアル・技術ドキュメント

<https://movabletype.jp>

よくある質問・
お問い合わせ

<https://www.sixapart.jp/support/>

シックス・アパート株式会社

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-17-15 ヨシダFGビル5F